



新日本フィルハーモニー交響楽団

*Annual Report*

**アニュアルレポート 2007-2008**

---

## Contents

---

■ ごあいさつ	1
■ 新日本フィルハーモニー交響楽団プロフィール	2
■ 役員・評議員・顧問・団友一覧	3
■ 楽団概要・楽団員一覧	4
■ 2007～2008年 活動概要	
1. 総論	5
2. 自主演奏会（定期演奏会、特別演奏会）委託演奏会	6
3. アウトリーチ活動	8
4. パトロネージュ	9
附1. 自主演奏会記録	10
2. 委託演奏会記録	15
3. アウトリーチ活動記録（音楽指導実施校、訪問施設名）	15
■ 2008～2009年に向けて 次年度以降目指すもの	
1. 総論	17
2. 自主演奏会・委託演奏会	17
3. ヨーロッパツアー	17
4. アウトリーチ活動	17
5. パトロネージュ	17
■ 各種データ	
1. シリーズ別来場者数／公演1回当たり平均来場者数	18
2. 演奏会収支	19
3. パトロネージュ	21
4. 財務データ	22
■ 会員一覧	23
特別支援企業／団体・賛助会・新日本フィルを支えるすみだの会・維持会	

※本誌は2007年4月1日から2008年3月31日までのレポートになります。  
年間シーズン（毎年9月～翌年8月）とは異なります。

## ■ ごあいさつ



皆さまには、平素より私ども新日本フィルハーモニー交響楽団にご協力、ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。本アニュアルレポートでは、2007年4月より2008年3月までの活動、財務など当楽団の概要についてご報告いたします。本誌が当団に関する皆さまのご理解の一助となれば幸いです。

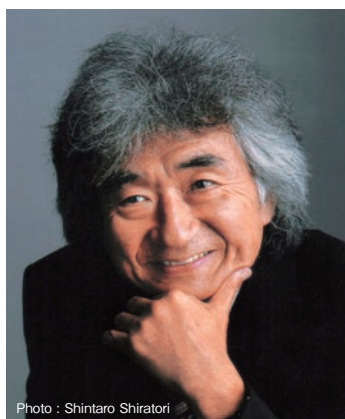
さて、2007年度は新日本フィルハーモニー交響楽団にとって成長の一年となりました。創立35周年を迎え、多彩なプログラムを導入することにより多くのお客様にご来場頂きました。また音楽監督のクリスティアン・アルミンクが就任してから6年が経ち、楽団としてもより高い音楽性を身につける事ができました。そして2011年までクリスティアン・アルミンクの契約延長も決まり、今後も更に充実した活動ができるように邁進して参ります。

私どもの日々の演奏活動と併せまして、財政的にも多額の運営資金を必要とするオーケストラの環境をご理解賜り、今後の活動をより活発にし更に充実させるために、今まで以上に皆さまのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団  
理事長 宮内 義彦

私が音楽監督になってからのこの6年間を振り返ってみると音楽的には高い成果を上げることが出来たと思っています。しかし、一方では私が目標とする、日本から世界へ発信する世界レベルのオーケストラに新日本フィルになるには、あらゆる面で今まで以上の努力が必要だと考えております。音楽面では勿論音楽監督である私が全責任を負って邁進する所存です。皆様方をお願いしたいのは同じ「夢」を持って頂くことと、それを支えて下さる経済的ご支援です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団  
音楽監督 クリスティアン・アルミンク



「一緒に音楽をやろう」という気持ちで仲間たちと始めたオーケストラも36年を迎えました。時間の流れと共にオーケストラを取り巻く環境は変化して行きます。指揮者もソリストも聴衆の皆さんも世代から世代へと変わって行きます。でも、“新日本フィルハーモニー交響楽団”というオーケストラは皆さんがそこに「喜び」や「安らぎ」を感じて、必要だと思っただけでいる限りいつまでも変ることなく存在します。演奏家も作曲家も指揮者もオーケストラ無くしては仕事は出来ません。オーケストラもご期待に応えられるよう努めてまいります。温かいご支援をしていただいている皆様に感謝いたしますと共に、今後とも新日本フィルハーモニー交響楽団を永きに亘り応援していただけることをお願い申し上げます。

財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団  
桂冠名誉指揮者 小澤 征爾

## ■ 新日本フィルハーモニー交響楽団プロフィール



「一緒に音楽をやろう！」1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。声楽・舞台作品や近現代作品の重視等で独自の路線を歩み、小澤征爾オペラ・シリーズ、ハイドン交響曲全曲演奏を含む「室内オーケストラ・シリーズ」等、優れた企画と充実した演奏で好評を得てきた。また、1985年には小澤征爾と欧州公演を行い、成功を収めた。

1997年より葛飾北斎生誕の地、大相撲の殿堂・国技館のある、歴史と伝統の街・墨田に移り、同年オープンの「すみだトリフォニーホール」を活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行うという日本初の本格的フランチャイズを導入。その後開催されたロストロポーヴィチによる「ショスタコーヴィチ・フェスティバル」や井上道義指揮の「マーラー・ツィクルス～交響曲全曲演奏会～」などでは非常に高い評価を得ている。現在、すみだトリフォニーホールとサントリーホールで定期演奏会、特別演奏会を行うほか、地元の学校体育館でのコミュニティ・コンサート、小中学校の音楽授業や各種施設を訪れるミニ・コンサートなどで地域に根ざした演奏活動も精力的に行っている。

1998年には小澤征爾とロストロポーヴィチの指揮でロシア公演（ブリテン／戦争レクイエム）を行い日露の親善に務めた。

1999年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者となり、2003年、音楽監督として1971年生まれのカリスタ・アルミンクが就任。若手指揮者の異例の抜擢として音楽界の注目を集めた。

2004年にはスペイン公演を行い、現地でも高い評価を得た。また同年夏からは音楽家・久石譲と新プロジェクト“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”を立ち上げ、ジャンルに囚われないプログラムで新しい客層にアピールする一方、楽員の自主的な発案で『室内楽シリーズ』も始め、東京のオーケストラの中で初めて本格的に取り組んだ楽員による室内楽定期公演で、高い評価と人気を得ている。

アルミンク就任以来、演出付きコンサート・オペラを毎シーズン上演しており、ベートーヴェンの歌劇『レオノーレ』（2005年）を日本初演、オネゲル作曲の劇的オラトリオ『火刑台上のジャンヌ・ダルク』（2006年）は新聞各紙で絶賛を浴び、第3回三菱信託音楽賞奨励賞を受賞するなど、高い評価を得た。

その後もワーグナーの歌劇『ローエングリン』、ヨハン・シュトラウスの喜歌劇『こうもり』（2007年）を上演し、何れも最大級の賞賛を得ている。

また、シーズン通じて「愛」「誘惑」「秘密」などテーマに沿ったプログラミング、現代音楽の積極的な紹介、新作委嘱や従来の日本のオーケストラになかった斬新なアイデアを随所に盛り込み、企画・演奏が高く評価され、メディアでも「日本のオーケストラの新御三家のひとつ」として紹介された。

アルミンクとのレコーディングとしては、『ブラームス：交響曲第1番&マーラー：交響曲第3番』、『マーラー：交響曲第5番』、『マーラー：交響曲『大地の歌』』、『ベートーヴェン：交響曲第9番『合唱付』』がリリースされており、特にマーラーの5番はドイツ国内でラジオ放送され、「今までの日本のオーケストラとは明らかに違う、ヨーロッパのオーケストラと比較してもAクラスの演奏」と評された。

2008/2009シーズンはダニエル・ハーディング、フランス・ブリュッヘン、上岡敏之らが客演する。

今年6月には、アルミンクとの音楽監督契約を2010/11シーズンまでさらに延長することも決定した。

“常に新しい音楽性を探求する日本のオーケストラ”それが「新日本フィルハーモニー交響楽団」である。

# 役員・評議員・顧問・団友一覧

(2008年3月31日現在)

理事長 宮内 義彦  
副理事長 日枝 久  
専務理事 森 千二

理事 浅利 慶太 池田 弘一 井上 礼之 大賀 典雄 奥 正之 梶原 健司 ロバート・W・クライド 小林陽太郎  
佐々木 元 庄子 幹雄 豊田章一郎 塙 章次 増田 宗昭 森 英恵 山崎 昇 和地 孝

監事 中村 芳夫 三好 正也

評議員 出光 昭介 岩沙 弘道 牛尾 治朗 氏家 純一 小澤 征爾 小野 敏夫 佐治 信忠 庄山 悦彦 鈴木 茂晴  
鈴木 正 鈴木 道夫 堤 清二 中村喜久男 長妻 和男 成田 豊 萩原 道彦 久石 譲 福原 義春  
松下 武義 峰岸 壮一 森川 敏雄 諸橋 晋六 山崎 富治 吉井 澄雄

永久桂冠顧問 石川 六郎

顧問 坂田 俊夫

理事長補佐 永田 浩治

名誉首席 鈴木 清三 山口 浩一◇ 峰岸 壮一◇

名誉団友 奥山 澄雄 朝比奈 隆 実相寺昭雄 山本 直純

団友 ルイ・グレーラー 福田 和子 長谷川 修 福崎至佐子 山崎 恵裕 斎藤 明 福田日出彦 木村 茉莉 山口 恭範  
榊原 栄 大津千代子 裕川 雅雄 瀬戸 瑠子 田中 栄一 宮崎 隆男 井口 久美 山口 裕子 牛尾 京子  
草地 一義 松波 恵子 市岡みゆき 古川原裕仁 常光 誠治 小川内一彦◇ 植木 三郎◇ 関川 純二 中畑 幸子◇  
高瀬 晃也 千葉 馨 鈴木理恵子 植草ひろみ 宮川 暉雄◇ 毛利 恭三◇ 成田 士◇ 根津 規子 杉江 弘仲◇  
磯崎 陽一 岡谷 治夫 松原 勝也 松崎千代繁 田中 成行◇ 勝亦 健◇ 古賀 慎治 山崎 聡 酒井 紀子◇  
猪狩 光弘 栃窪 文雄 白尾 偕子 守山ひかる ゲルハルト・ワルブレヒト◇ 三界 秀実 篠原 辰夫 柴田 乙雄  
会田 省三◇ 光信 利彦◇ 支倉二二男 中谷 孝哉 西本 徳子◇ 牧田 齊◇ 玉之内 勉 黒田 絵奈 原 雅道  
植木 章◇ 大倉 滋夫◇ 山本 正治 金子 康夫 (◇定年退職)



Photo : K.Miura

# 楽団概要 楽団員一覧

(2008年3月31日現在)

創立 1972年

音楽監督

クリスティアン・アルミンク

桂冠名誉指揮者

小澤 征爾

ミュージック・アドバイザー

ゲルハルト・ボッセ

永久指揮者

齋藤 秀雄

フレンド・オブ・セイジ

ムスティスラフ・ロストロポヴィチ

新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ

音楽監督

久石 譲

ソロ・コンサートマスター

崔 文洙

ゲスト・ソロ・コンサートマスター

豊嶋 泰嗣

コンサートマスター

西江 辰郎

第1ヴァイオリン

堀内 麻貴○

山田 容子○

一重 弘子

稲垣 桃子

岸田 晶子

澤田 和慶

塩澤 菜美

宗田 勇司

竹中 勇人

田村 直貴

間垣 健二

松宮麻希子

山口 幸子(留)

山本のりこ

第2ヴァイオリン

吉村 知子\*

佐々木絵理子○

戸松 智美○

石田はつみ

宇野沢美緒

小池めぐみ

篠原 英和

砂畑 佳江

中川富美子

中矢 英視

深谷 まり

山崎 恵子

奥那嶺理香□

ヴィオラ

篠崎 友美\*

中村美由紀\*□

木村 恵子○

野村 圭子○

岩井香保里(留)

小山 千鶴

醍醐 紀子

高橋 正人

原 孝明

間瀬 容子

矢浪 礼子

吉鶴 洋一

高山 愛□

チェロ

川上 徹\*

花崎 薫\*

武澤 秀平○

貝原 正三

多田 麗王

弘田 徹

スティーン・フィンナティ

森澤 泰

矢野 晶子

山崎 泉

文芸部

吉井 澄雄(舞台照明家)

新井 鷗子(音楽作家)

コントラバス

竹田 勉\*

渡辺 玲雄\*

安保 龍也

石田 常文

廣嶋 嘉人

村松 裕子

森園 康一

フルート

白尾 彰\*

荒川 洋\*

野口 みお

和田 健二

フルート&ピッコロ

渡辺 泰

オーボエ

古部 賢一\*

浅間 信慶

七澤 英貴

オーボエ&イングリッシュホルン

森 明子

クラリネット

重松希巳江\*

澤村 康恵\*

鈴木 良昭(楽友)

クラリネット&バスクラリネット

鈴木 高通

ファゴット

河村 幹子\*

坪井 隆明\*

石川 晃

佐久間大作(留)

ホルン

井手 詩朗\*

吉永 雅人\*

阿部 雅人

大野 雄太

金子 典樹

田中 雅樹

トランペット

服部 孝也\*

デイヴィッド・ヘルツォーク\*(留)

市川 和彦

杉木淳一郎

トロンボーン

宮下 宣子\*

山口 尚人\*

奥村 晃

バストロンボーン

門脇賀智志

チューバ

佐藤 和彦\*

ティンパニ

川瀬 達也\*

近藤 高顕\*

パーカッション

小島 光

山田 徹

※首席

\*副首席

○フォアシューパー

□契約団員

(留) 留学中

パーサネル・マネージャー 五島 励二

インスペクター 吉鶴 洋一

浅間 信慶

廣嶋 嘉人

ステージ・マネージャー 成瀬 清明

飯野 秀明

小宮山雄太

窪 泰晋

ライブラリアン 林 知也

中矢 英視

河田 信乃

高野 糸子

事務局

事務局長 桑原 浩

事務局次長 経理・総務 白鳥美代子

事務局次長 事業 安江 正也

事業 長久保宏太朗

小々馬慶太

佐藤 容子

桐原 美砂

広報・宣伝 関 顕治

小藤美由紀

経理・総務 斎藤栄実子

井川 雅子

亀井麻弓子

チケットボックス 室長 袴田 史恵

茂手木はな絵

栗田 博美

加藤恵実子

馬淵 佳奈

パトロネージュ室 室長 永田 浩治

(非常勤)

國枝 純一

水上 千秋

山田 裕平

米山 進

渡邊 洋

渡辺 進

山本 響子

# 2007～2008年 活動概要

## 1. 総論

### 1-1 概況

当年度を振り返りますと、世界的に社会・経済情勢が厳しい一年だったと云えます。2006年末からのサブプライム問題や原油高等の影響で、世界的に景気の減速が懸念され、日本においてもその影響を受け景気低迷を感じさせる事柄も多一年となりました。各芸術団体に対する支援の打ち切りや、スポンサー様からご支援減額等などの話題も、マスコミ等を通じて見聞きする年度でした。

このような状況下で、新日本フィルハーモニー交響楽団においては、当年度は僅かではありますが収益を計上する事が出来ました。毎年厳しい財政状況であります事に変わりはありませんが、当年度収益計上が出来ました事は、ひとえに多くの方々からのご尽力、ご支援の賜物でございます。

楽団としては、2007～08年度で就任6年目を迎えた音楽監督のクリスティアン・アルミンクのもとで、演奏力が一層向上して参りました。新日本フィルは日本のオーケストラの新御三家との評価も頂きつつ、着実に演奏活動を充実させております。

事務局サイドでは広告、宣伝、チケット販売、パトロネージュシステム等の改善や新機軸の創設を行い、まだ途上ではございますが良い結果を生み出してきております。厳しい社会・経済情勢の中でも新日本フィルを応援して下さる方が増加している現実は何よりも大きな喜びであります。「良いものは良い」と仰って下さる方々の励ましは、楽団の大きな自信に繋がっています。

今後も芸術の普及・向上、社会貢献、青少年の育成という理念に基づき、音楽活動に邁進する所存でございます。

### 1-2 充実した演奏活動

当年度は楽団創立35周年にあたり、音楽監督のクリスティアン・アルミンクが就任して2期目の集大成という節目の年でもありました。新日本フィルは他のオーケストラと比べて音楽監督の年間出演回数が多いことから、徹底した練習を重ねることが可能となっています。併せて音響の優れたすみだトリフォニーホール（大ホール）で練習ができるという大きなメリットもあり、更に良い音を追求する姿勢が培われています。これらの相乗効果で年々演奏力が向上し、よりクオリティの高い演奏をお届け出来るようになってきました。結果として音楽監督の目指す音楽性、サウンドが楽員にも深く浸透しており、高い演奏力を培うことが出来ています。これらの事実から生み出される新日本フィルの演奏は、多くのお客様から高い評価を戴いています。

音楽監督クリスティアン・アルミンクは定期演奏会の選曲をするのは勿論ですが、客員指揮者やソリストの人選までに携わっており、徹底したこだわりを発揮しています。1回毎の公演の質を大切に気質から、本年度も実力を持つ指揮者やソリストと共演することができ、大きな経験を積むことができました。

新日本フィルは日本のオーケストラとして初めて1シーズン（毎年9月～8月）毎にシーズンテーマを設定するというスタンスを設けています。2006～07年のシーズンテーマは「誘惑」、本年2007～08年のテーマは「抵抗」というように、年間を通して1つのテーマから音楽を追求するスタイルは、お客様を始め各方面からも好評を得ました。

シーズンテーマにより、新日本フィルが発信したいテーマや音楽性をより分かりやすくお伝えすることが出来ています。

### 1-3 地域を拠点とした社会貢献

日本のオーケストラとして初めてフランチャイズ制を導入し、楽団の本拠地をすみだトリフォニーホールに移してから10年目を迎えました。練習場としてホールを使用出来ると云う事実が演奏に及ぼすメリットは前項にも記載しましたが、練習に係る経済的負担、人的労力の激減も特筆すべきメリットです。

しかしフランチャイズ制がもたらした最も素晴らしい事は、地域を拠点としたアウトリーチ活動の活発化です。新日本フィルはこの10年来墨田区を拠点としたアウトリーチ活動を積極的に行ってきた訳ですが、10年の節目を迎えた本年はこのようなアウトリーチ活動が、社会貢献活動として地元の方々から認知された区切りの年であると位置づける事ができるのではないか、と思います。

多くのご声援を頂きながら、今日では地元のオーケストラとして根付き、役立つことが出来ていると自負しています。

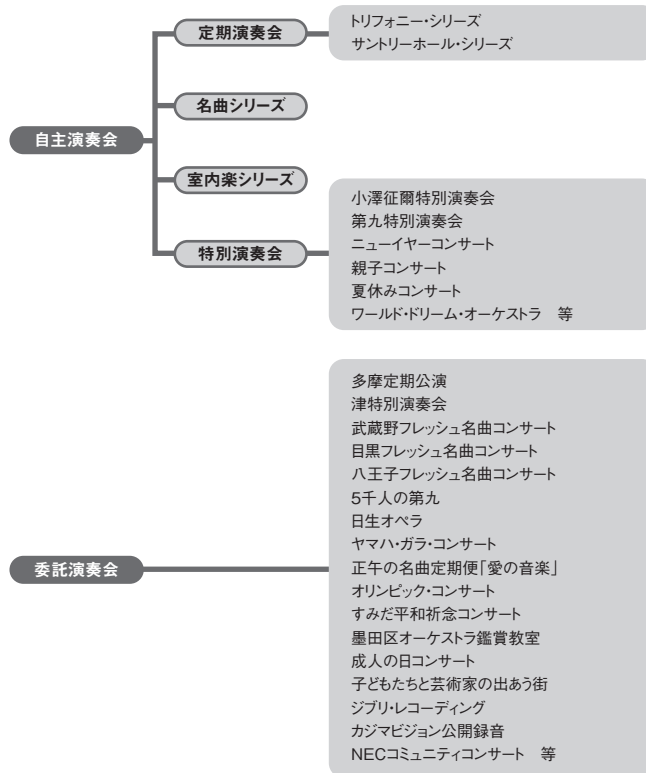
### 1-4 効果的に継承される活動目的

新日本フィルの活動目的は、「音楽芸術の普及向上を図り」「日本の芸術文化の発展に寄与する」ための様々な演奏会その他の諸活動、「社会・地域・青少年に対する音楽の更なる普及」を通じて「日本の次代を担う世代の健全な成長への貢献」に努める事、が大きな柱です。これらの目的を達成する為過去行ってきた私どもの活動は、継続されることによってより効果的な結果をもたらすようになってきています。「日本初演曲の演奏」「コンサート形式オペラ上演」は、いまや観客の皆様方が待ち望まれている新日本フィル定期演奏会の売り物の一つです。有望なソリストとの共演、ジュニアオーケストラの育成を通じて「若い音楽家、新しい音楽家の発掘」に努めることが日常の活動となっています。名曲シリーズ、新日本フィルがいっぱい、親子コンサート、サマーコンサート、ニューイヤーコンサートを通じて、「社会・地域・青少年に対する音楽の更なる普及」を目指しつつ、このような機会をより多くの方々へお届けする為に各企画のリニューアルを図りつつあります。宮崎アニメのサウンド・トラック、久石譲との新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラも定番となりました。

地元、首都圏だけでなく日本全国に「音楽の更なる普及」を図る活動も、日本各地の自治体等と音楽普及活動に関する契約を交わしつつ、順調に推移しています。

## 2. 自主演奏会・委託演奏会

### 2-1 新日本フィルの演奏会の概要



### 2-2 定期演奏会

#### ■ 2-2-1 トリフォニー・シリーズ 16回開催

ホームグラウンドのすみだトリフォニーホールにて開催される定期演奏会。

本公演ではクラシック音楽の名曲はもちろん、積極的に日本初演の曲や現代曲にも取り組んで、音楽芸術の向上を目指しています。

- 5月… 世界が注目する若手指揮者下野竜也と初共演した際に、日本初演奏の演目を取り入れる
- 6月… ピアニストのティル・フェルナーとの共演
- 7月… 新日本フィル創立35周年記念として初の委嘱作品の演奏をする  
(新日本フィルがアタナシア・ジャノウに作曲を依頼した曲を演奏)
- 9月… コンサートオペラ：シーズンテーマ「抵抗」のオープニングコンサート  
ヨハン・シュトラウスⅡ世『こうもり』公演
- 1月… ヨーロッパの重鎮の指揮者ヴォルフ・ティーター・ハウシルトと共演  
ハウシルトが得意とするブルックナーの交響曲を演奏
- 2月… 世界中の主要オーケストラの指揮者をするマルク・アルブレヒトと共演
- 3月… アルミンク8回目のマーラー交響曲 第4番を演奏  
音楽監督アルミンク指揮でマーラーに積極的に取り組み、8回目の演奏となる

#### ■ 2-2-2 サントリーホール・シリーズ 5回開催

都心サントリーホールでの定期演奏会。トリフォニー・シリーズと違い平日のコンサートを開催。仕事帰りのお客様にも楽しんで頂ける演奏会を展開しています。尚、本年度はサントリーホールのリニューアル工事が施工された関係で、前年11回の公演に対して、本年は5回の公演。

- 9月… 音楽監督クリスティアン・アルミンクによるマーラー／交響曲第7番の公演
- 10月… 世界中のオーケストラの指揮者をするヤクブ・フルシャと共演
- 2月… リーム作曲「変化」を日本初演

#### 2-3 名曲シリーズ(クラシックの扉) 8回開催

すみだトリフォニーホールにてクラシックの名曲を中心とした演奏会を開催。墨田区の協力によりチケットを安価にして販売し、地元をはじめ多くの方々にクラシック音楽の魅力をお伝えしています。新日本フィルの特徴の一つとして各首席演奏者がソリストとしても優れた能力を持っていることが挙げられますが、本公演ではその特色を活かし、首席奏者をソリストとして起用することも多々あります。また日本の若手演奏家との共演を積極的に行い、若く才能のある演奏家の活躍の場ともなっています。

- 4月… 指揮者ゲルハルト・ボッセ、若手ピアニスト岸本雅美と共演
- 6月… 若手ギターリスト村治奏一と共演
- 9月… 新日本フィル首席クラリネット奏者重松希巳江と共演
- 10月… ピアニスト仲道郁代との共演
- 11月… 新日本フィルコンサートマスター西江辰郎と共演
- 2月… 新進若手ヴァイオリニスト郷古廉と共演





## 2-4 室内楽シリーズ 10回開催

AIGグループのご協賛により、墨田区の音楽振興を目的とした室内楽コンサートを開催。日本のオーケストラでは初めての定期的な室内楽演奏会です。楽団員もアンサンブル能力の向上等のスキルアップを求める場として積極的に出演しています。

## 2-5 特別演奏会

新日本フィルは、定期演奏会の他に演奏会を主催、特別演奏会として公演。

例えば年末の定番の『第九』特別演奏会やニューイヤーコンサート、サマーコンサート、親子コンサート等を開催、これらの特別演奏会は、いまや毎年恒例となりお客様の期待も高いコンサートに育っています。

一方で実力のある指揮者やソリストと共演をする特別演奏会も開催しています。

新日本フィル桂冠名誉指揮者、小澤征爾指揮の演奏会もこの特別演奏会の一つです。

### <主要特別演奏会>

#### ・第九特別演奏会

日本の年末の風物詩として定着した感のある第九。2007～08年度は3回の開催でした。

#### ・ニューイヤーコンサート

年始に開催するコンサート。新しい年をおめでとうの演出と華やかな演奏で迎えます。

#### ・親子コンサート

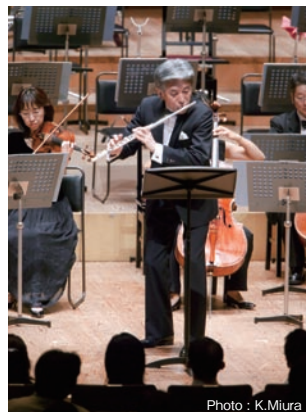
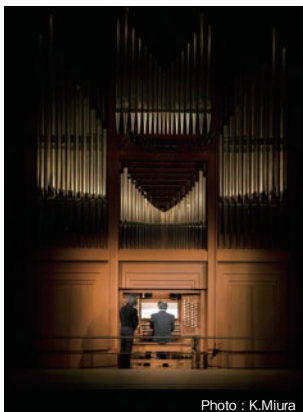
親子で気軽に楽しめるコンサート。来場した子供は全員ステージでオーケストラを感じる機会を持つことが出来、感動の感想を多く頂いています。

#### ・サマーコンサート

子供から大人まで楽しめる夏休みの企画として開催。楽団員もTシャツを着て演奏会に臨みます。ロビーで開催されるフリーマーケットの収益金は本年度は車椅子寄付として活用され、社会貢献活動の一環として位置付けられる企画でもあります。

#### ・新日本フィルがいっぱい

新シーズンの幕開けを飾る演奏会として開催。新日本フィルを支えて下さっている方々をご招待し、新日本フィルへのご理解を深めて頂く機会となっています。チケット代金もご支援のお蔭で格安設定のコンサートです。



## 2-6 委託演奏会

自治体、企業、団体等、演奏会の主催者から委託を受けた演奏会。

本年度は88公演を数えましたが、2008年5月には新たに岐阜県可児市と地域拠点契約を締結し、益々充実した活動を続けています。皆様からのご期待に沿いつつ、首都圏だけでなく日本全国に新日本フィルをお届けする目的を大切に取組み事が出来ました。



### 3. アウトリーチ活動

#### 3-1 青少年に対する音楽の普及、社会貢献

##### ■音楽授業 36回開催

新日本フィルの楽団員が小中学校に赴いて音楽の授業を開催しています。墨田区内の小中学校を訪問。(小学校27校、中学校9校)

授業に接する楽団員の真摯な姿勢は素晴らしいもので、授業を受ける児童生徒達の喜びや感動を綴った感想も活動を続けていく源泉になっています。併せて新日本フィルはこれらの活動が児童生徒達の精神的な豊かさを醸成し、こころ豊かな社会の形成に繋がっていく事を望んでいます。

##### ■オーケストラ鑑賞教室 4回開催

墨田区内の小中学生をすみだトリフォニーホールに招き、上記音楽授業では体験不可能なフルオーケストラを聴いてもらっています。墨田区は居住する全ての子供達がオーケストラを聴き、感動を体験できる街に育っています。ホール設立当初掲げられた音楽都市構想がその実現に向かって進んでいる事、そのお手伝いをしている実感を得る事の出来る企画です。



#### 3-2 ふれあいコンサート等 20回開催

新日本フィルの楽団員が墨田区内の病院や福祉施設に赴き、ミニコンサートを開催。

普段コンサートホールにご来場頂くことの出来ない方々にも、音楽を聴いて頂く機会を提供しています。又、墨田区役所ロビーにおいても同様のコンサートを随時開催し、来庁者の方々に楽しんで頂いており、このコンサートを楽しみにして下さる方々も数多く、クラシック音楽の普及に一役かっています。



## 4. パトロネージュ

現代社会においては文化芸術を醸成させるには国家が主体となる訳でもなく、特定の団体が主体となる訳でもございません。官、民、個人、団体を問わずより多くの人々が手を携え、生まれ育って行くのが本来の姿とも云えるでしょう。又、文化芸術が定着するには相当の歳月を要すると云われています。特に日本にクラシック音楽を定着させるには150年以上の歳月がかかると云う説もあります。そうした長い年月の中で時には社会・経済情勢が悪化することもあります。新日本フィルはどのような状況下でも地道に活動を続け、より多くの方々に音楽の素晴らしさをお伝えすることが重要な使命だと考えています。

オーケストラ運営にかかる経費をチケット収入や外部出演料だけでは賄いきれていない実情の中、幸い多くの企業、個人の皆様からの様々なご支援で運営を成り立たせております。

しかしながらこれを安定させ、更なる「演奏の充実」を図る為にはより強固な基盤にしていく必要があります。そしてその高められた音楽性を背景に音楽文化をより広く普及させていく事が私共の使命であり、存在意義だと思っております。私共のこれらの活動が日本の社会を心豊かなものにするのだ、と願いそして信じ、日々活動しております。

このような状況の中で、新日本フィルの活動理念である「音楽芸術の普及向上を図り、日本の芸術文化の発展に寄与する」ための様々な演奏会活動、新日本フィルの活動事業の一つである「青少年に対する音楽の普及活動」を通じて「日本の次代を担う世代の健全な成長への貢献」に努めることに、深く共感頂ける企業、個人の皆様にパトロネージュシステムをご案内しております。

私たちはより多くの素晴らしいソリストや指揮者の方々にプログラムに組み込んでいきたい。そしてより腰を据えて行える自主演奏会を増やして、芸術性の更なる向上と日本社会への音楽普及を計りたい。又、青少年に対する音楽の普及活動をより強力に推進すべく、アウトリーチ活動も自主企画として行っていきたい。そしてその根底を担う楽団員の待遇面でもせめて日本の標準値まで持っていきたい等々、目標は多々ございますが、現状の運営面から考察すれば、より効率的に運営するとはいたしましても非常に難しい状況です。これらをご賢察頂き、パトロネージュシステムへのご理解ご協力をお願い申し上げます。

### ■パトロネージュ室

音楽の理念は普遍的なものであり、社会情勢によって変化するものではありませんが、運営の方法は工夫が出来ます。新日本フィルはパトロネージュシステムへ深いご理解を戴き、併せて楽団の効率的経営を図る為、本年4月にパトロネージュ室を設置致しました。同時にご支援者のご意見を伺う窓口として機能させ、それらを運営に反映させる機能も整えるべく体制を整えつつあります。

パトロネージュシステムへのお問い合わせは勿論、システムに関しましてのご意見、ご要望、ご提案等々ございましたら、新設のパトロネージュ室をご活用下さいますようお願い致します。

### ■パトロネージュシステム

#### ■特別支援企業・特別支援団体

新日本フィルの運営の基盤を中核となって支えていただく企業・団体の皆様をお願いしているシステムです。このご支援は、主に新日本フィルの存立の基盤とその良心の証である「定期演奏会」活動を支えるために運用させていただいております。

#### ■賛助会員

新日本フィルの運営の基盤を幅広く多くの企業や団体、そして個人の皆様に支えていただくシステムです。

ご支援額

法人100万円 【1口50万円ですが、2口以上のご支援を賜りましたら幸いです】

個人1口25万円

#### ■維持会員

新日本フィルがより良いオーケストラに成長することを温かく見守っていただいている、いわば後援会、ファンクラブといった性格のもので、個人の皆様が対象になります。

ご支援額

個人1口1万円

#### ■新日本フィルを支えるすみだの会

新日本フィルが本拠地を置いている墨田区を中心とした、企業や個人の皆様方のご支援を願ってのシステムです。

「企業・団体の皆様」

ご支援額

特別法人スポンサー1口100万円

法人スポンサー1口50万円

法人サポーター1口10万円

「個人の皆様」

ご支援額

スポンサー1口25万円

サポーター1口1万円

賜ったご支援に対しましては、各システム毎に新日本フィルがご提供できる事例がございます。詳細はパトロネージュ室迄お問い合わせ下さい。

パトロネージュシステムの趣旨をご理解下さりご支援頂きます事は、各企業、個人の皆様方にとりましても社会貢献になると信じております。又その企業姿勢を社会に示す事となり、企業イメージ向上にもつながるものであると信じています。当然ながらそれに違わないような活動をお約束し、その結果や運営の状況をご報告していく所存でございます。

# 附1. 自主演奏会記録

## 1-1 定期演奏会 第416回～第428回 (合計21回)

### ■ トリフォニー・シリーズ 計16回

於：すみだトリフォニーホール

- ・第416回 5月25日(金) / 5月26日(土)  
指揮：下野 竜也  
オルガン：小林 英之  
オッフェンバッハ／喜歌劇  
『天国と地獄(地獄のオルフェ)』序曲  
ラインベルガー／オルガン協奏曲第2番ト短調op.177  
ラフ／交響曲第5番ホ長調『レノーレ』op.177 (全曲日本初演)
- ・第417回 6月15日(金) / 6月16日(土)  
指揮：クリスティアン・アルミンク  
ピアノ：ティル・フェルナー  
レンツ／『ミステリウム』より「星」(2000)  
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第5番変ホ長調『皇帝』op.73  
シューマン／交響曲第1番変ロ長調『春』op.38
- ・第418回 7月27日(金) / 7月28日(土)  
指揮：クリスティアン・アルミンク  
チェロ：ソル・ガベッタ  
アタナシア・ジャノウ／聴け、神秘なる季節へと誘惑する風を  
新日本フィル委嘱作品(2007)(世界初演)  
エルガー／チェロ協奏曲ホ短調op.85  
ベートーヴェン／交響曲第4番変ロ長調op.60
- ・第420回 9月21日(金) / 9月23日(日・祝)  
指揮：クリスティアン・アルミンク  
アイゼンシュタイン：ヘルベルト・リッペルト  
ロザリンデ：ベッティーナ・イェンセン  
アデーレ：松田 奈緒美  
イーダ：星川 美保子  
アルフレード：カルステン・ジュス  
オルロフスキー公爵：加納 悦子  
ファルケ博士：高田 智宏  
フランク：キュー・ウォン・ハン ほか  
合唱：栗友会合唱団  
演出：三浦 安浩  
ヨハン・シュトラウスⅡ世／喜歌劇『こうもり』(コンサート・オペラ形式)
- ・第421回 10月5日(金) / 10月6日(土)  
指揮：ミヒャエル・ボーダー  
ピアノ：アンティ・シーララ  
モーツァルト／歌劇『魔笛』K.620序曲  
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番ト長調op.58  
ブラームス／交響曲第4番ホ短調op.98
- ・第424回 1月18日(金) / 1月19日(土)  
指揮：ヴォルフ＝ディーター・ハウシルト  
ブルックナー／交響曲第8番ハ短調(ノーヴァク版1890)
- ・第425回 2月8日(金) / 2月9日(土)  
指揮：マルク・アルブレヒト  
チェロ：ルートヴィヒ・クヴァント  
ワーグナー／歌劇『さまよえるオランダ人』序曲  
ディティュー／チェロ協奏曲『はるかなる遠い国へ』  
R・シュトラウス／交響詩『英雄の生涯』op.40
- ・第427回 3月14日(金) / 3月15日(土)  
指揮：クリスティアン・アルミンク ヴァイオリン：ジュリアン・ラクリン  
ソプラノ：シルヴィア・シュヴァルツ  
シベリウス／ヴァイオリン協奏曲二短調op.47  
マーラー／交響曲第4番ト長調



## ・第419回 9月13日(木)

指揮：クリスティアン・アルミンク  
マーラー／交響曲第7番ホ短調「夜の歌」

## ・第422回 10月18日(木)

指揮：ヤクブ・フルシャ  
ピアノ：オリ・ムストネン  
モーツァルト／歌劇『ドン・ジョヴァンニ』K.527序曲  
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番ハ短調op.37  
ドヴォルジャーク／交響曲第9番ホ短調op.95「新世界より」

## ・第423回 11月28日(水)

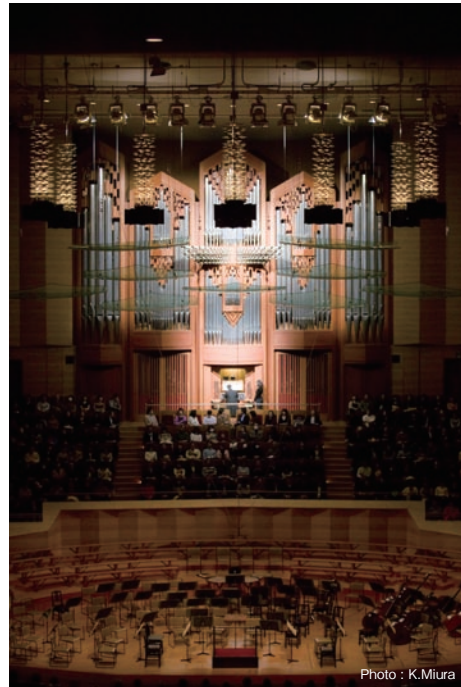
指揮：クリスティアン・アルミンク  
ソプラノ：エリン・ウォール  
アルト：池田 香織  
テノール：マティアス・サカリアンセン  
バス：福島 明也  
合唱：栗友会合唱団  
ベートーヴェン／ミサ・ソレムニスニ長調op.123

## ・第426回 2月29日(金)

指揮：クリスティアン・アルミンク  
ソプラノ：カタリーナ・ピーツ  
リーム／変化(2002)(日本初演)  
ムソルグスキー(シヨスタコーヴィチ編)／歌曲集「死の歌と踊り」  
ドヴォルジャーク／交響曲第7番ニ短調op.70

## ・第428回 3月21日(金)

指揮：イオン・マリン  
ヴァイオリン：パトリツィア・コパチンスカヤ  
バーンスタイン／ミュージカル『キャンディード』序曲  
プロコフィエフ／ヴァイオリン協奏曲第2番ト短調op.63  
プロコフィエフ／交響曲第5番変ロ長調op.100



## 1-2 その他の自主演奏会の開催（合計28回）

### ■名曲シリーズ「クラシックへの扉」 計8回

- ・第68回 4月14日（土）  
指揮：ゲルハルト・ボッセ  
ピアノ：岸本 雅美  
ハイドン／交響曲第86番二長調Hob. I-86  
モーツァルト／ピアノ協奏曲第18番変ロ長調k.456  
ワーグナー／ジークフリート牧歌  
プロコフィエフ／交響曲第1番二短調『古典交響曲』op.25
- ・第69回 6月9日（土）  
指揮：クリスティアン・アルミンク  
ギター：村治 奏一  
ラヴェル／ラ・ヴァルス  
ガーシュウィン／バリのアメリカ人  
ロドリゴ／アランフェス協奏曲  
ラヴェル／ボレロ
- ・第70回 7月22日（日）  
指揮：クリスティアン・アルミンク  
ヴァイオリン：矢野 玲子  
ハイドン／交響曲第97番ハ長調Hob. I-97  
ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲第1番短調op.26  
モーツァルト／交響曲第41番ハ長調『ジュピター』k.551
- ・第71回 9月8日（土）  
指揮：クリスティアン・アルミンク  
クラリネット：重松 希巳江（新日本フィル首席クラリネット奏者）  
モーツァルト／歌劇『コシ・ファン・トゥッテ』k.588序曲  
モーツァルト／クラリネット協奏曲イ長調k.622  
ベートーヴェン／交響曲第6番ハ長調op.68「田園」
- ・第72回 10月13日（土）  
指揮：ヤクブ・フルンチャ  
ピアノ：仲道 郁代  
ショパン／ピアノ協奏曲第1番ホ短調op.11  
リムスキー＝コルサコフ／交響組曲『シェヘラザード』 op.35
- ・第73回 11月23日（金・祝）  
指揮：クリスティアン・アルミンク  
ヴァイオリン：西江 辰郎（新日本フィルコンサートマスター）  
チャイコフスキー／ヴァイオリン協奏曲二長調op.35  
ショスタコーヴィチ／交響曲第5番二短調op.47
- ・第74回 1月26日（土）  
指揮：デリック・イノウエ  
ヴァイオリン：松山 冨花  
オルガン：松居 直美  
ラロ／ヴァイオリン協奏曲第2番二短調op.21『スペイン交響曲』  
サン＝サーンス／交響曲第3番ハ短調op.78『オルガン付き』
- ・第75回 2月16日（土）  
指揮：ゲルハルト・ボッセ  
ヴァイオリン：郷古 廉  
ウェーバー／歌劇『オイリアンテ』序曲op.81  
モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲第4番二長調k.218『軍隊』  
ハイドン／交響曲 第1番二長調Hob. I-1  
ハイドン／交響曲 第100番ト長調Hob. I-100『軍隊』

### ■室内楽シリーズ2007 計10回

- ・第1回 4月13日（金）  
チャイコフスキー／弦楽四重奏曲第1番二長調op.11  
プーランク／トランペット、ホルン、トロンボーンのためのソナタ  
ストラヴィンスキー／管楽八重奏曲
- ・第2回 5月24日（木）  
メンデルスゾーン／弦楽四重奏曲第1番変ホ長調op.12  
モーツァルト／ディヴェルティメント変ホ長調K.563
- ・第3回 6月14日（木）  
ヴェルディ／弦楽四重奏曲ホ短調  
ベートーヴェン／ピアノと管楽のための五重奏曲変ホ長調op.16
- ・第4回 7月26日（木）  
ハイドン／弦楽四重奏曲第77番ハ長調『皇帝』op.76-3  
ブルッフ／七重奏曲変ホ長調
- ・第5回 9月7日（金）  
グリーグ／弦楽四重奏曲ト短調op.27  
ドヴォルジャーク／弦楽四重奏曲第12番ハ長調『アメリカ』op.96
- ・第6回 10月12日（金）  
ロッシニ／弦楽のためのソナタ第1番ト長調&第3番ハ長調  
シューベルト／弦楽四重奏曲第13番イ短調『ロザムンデ』D.804
- ・第7回 11月12日（月）  
ブラームス／弦楽四重奏曲第1番ハ短調op.51-1  
モーツァルト／ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲K.364（弦楽六重奏版）
- ・第8回 12月3日（月）  
モーツァルト／弦楽四重奏曲第3番ト長調K.156&第4番ハ長調K.157  
シューマン／ピアノ五重奏曲変ホ長調op.44
- ・第9回 1月30日（水）  
ショスタコーヴィチ／弦楽五重奏曲第8番ハ短調op.110  
モーツァルト／フルート四重奏曲第1番二長調K.285&第4番イ長調K.298  
マルティヌー／調理場のレヴェュー
- ・第10回 2月15日（金）  
ボロディン／弦楽四重奏曲第2番二長調  
ベートーヴェン／弦楽四重奏曲第7番ハ長調



Photo: K.Miura

## ■特別演奏会 親子コンサート

- ・ 4月29日（日・祝）  
指揮：梅田 俊明  
ゲスト：古今亭 志ん輔  
ウォルトン／戴冠式行進曲『王冠』  
ヨハン・シュトラウスⅡ世／『狩のポルカ』op.373  
杉浦邦弘／音楽物語“カイくんのハチャメチャ浦島太郎”  
カッチーニ／アヴェ・マリア  
久石 譲／『となりのトトロ』より“さんぽ”  
チャイコフスキー／スラブ行進曲op.31ほか



写真：竹原 伸治

## ■特別演奏会 サマーコンサート～みちよしの夏休み ～オーケストラ夏季集中講座～

- ・ 8月19日（日）  
指揮：井上 道義  
パイプ・オルガン：室住 素子  
打楽器：小島 光（新日本フィル楽団員）  
<校長先生のお話> ワーグナー／歌劇『タンホイザー』より“大行進”  
<理科> J・シュトラウスⅡ／爆発ポルカ  
<社会> ショスタコーヴィチ／交響曲第10番ホ短調op.93より第2楽章  
<国語> モーツァルト／歌劇『魔笛』序曲  
<家庭科> 榊原 栄／キッチン・コンチェルト  
<算数> J・Sバッハ／小フーガ短調BWV.578  
<舞踏> ラヴェル／ボレロ



写真：竹原 伸治



写真：竹原 伸治



写真：竹原 伸治

## ■特別演奏会 新日本フィルがいっぱい

・9月1日(土)

指揮：クリスティアン・アルミンク  
フルート：白尾 彰（新日本フィル首席フルート奏者）  
チューバ：佐藤 和彦（新日本フィル首席チューバ奏者）  
ヴァイオリン：西江 辰郎（新日本フィルコンサートマスター）  
ペルゴレージ／フルート協奏曲ト長調  
スティーヴンス／古風な様式による変奏曲  
サラサーテ／カルメン幻想曲op.25  
ベートーヴェン／交響曲第7番イ長調op.92



Photo: K.Miura

## ■第九特別演奏会 計3回

・12月22日(土) 会場：サントリーホール  
・12月23日(日・祝) 会場：オーチャードホール  
・12月24日(月・祝) 会場：すみだトリフォニーホール

指揮：ハインリヒ・シフ  
ソプラノ：中嶋 彰子  
アルト：カロリン・マズア  
テノール：シュテファン・リュエガマー  
バス：アンドレアス・シュミット  
合唱：栗友会合唱団 合唱指揮：栗山 文昭  
オルガン：小林 英之  
ヴァイオリン：崔 文洙（新日本フィルソロ・コンサートマスター）  
ヴィオラ：篠崎 友美（新日本フィルヴィオラ首席奏者）  
チェロ：花崎 薫（新日本フィルチェロ首席奏者）  
ゲーゼ／「ちからの主をほめたえよ」による祝典前奏曲 ※22日・24日  
クロムプ／コラル変奏曲「きよこの夜」※22日・24日  
ドホナーニ／弦楽三重奏のためのセレナードop.10 ※23日  
ベートーヴェン／交響曲第9番ニ短調「合唱付」※22日・23日・24日



Photo: K.Miura

## ■特別演奏会 ニューイヤーコンサート

・1月3日(木)

指揮：広上 淳一  
司会：榎本 有紀子  
トランペット：服部 孝也（新日本フィル首席トランペット奏者）  
トランペット：杉木淳一郎（新日本フィルトランペット奏者）  
ジョン・ウィリアムズ／オリンピックファンファーレ&テーマ  
J・シュトラウスⅡ／「こうもり」序曲、チクタク・ポルカ ワルツ  
「酒・女・歌」、ワルツ「朝刊」  
トレリ／2本のトランペット付きシンフォニア〜ねずみ年にちなんで〜  
デュカ／魔法使いの弟子  
ストラヴィンスキー／火の鳥（1919年版）



Photo: K.Miura

## ■特別演奏会 新日本フィル ツアー2008 計2回

・1月10日(木) 会場：ザ・シンフォニーホール（大阪）

・1月12日(土) 会場：すみだトリフォニーホール

指揮：クリスティアン・アルミンク  
ヴァイオリン：豊嶋 泰嗣（新日本フィルゲスト・ソロ・コンサートマスター）  
ワーグナー／歌劇「さまよえるオランダ人」序曲  
ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調op.26  
ブラームス／交響曲第1番ハ短調op.68



Photo: K.Miura



## 附2. 委託演奏会記録

本年度は、種別では一般公演71回、音楽教室3回、オペラ5回、ファミリー向け4回、録音3回、バレエ2回、地域別では東京66回、長野4回、神奈川4回、静岡3回、三重2回、茨城2回をはじめ、宮城、富山、広島、福岡、愛知、山梨、福島で1回づつ 計88回の委託演奏会を行う。

## 附3. アウトリーチ活動記録

### ■墨田区・オーケストラ鑑賞教室 計4回

- ・12月4日(火) 2回(小学生) 会場:すみだトリフォニーホール  
指揮:梅田 俊明  
オルガン:室住 素子  
ジョン・ウィリアムズ/映画『ハリー・ポッター』より「ヘドウィグのテーマ」  
楽器解説(ソロにて)  
レオン・ボエルマン/ゴシック組曲op.25「トッカータ」  
ルロイ・アンダーソン/「ホーム・ストレッチ」  
馬飼野康二/「世界がひとつになるまで」全員合唱  
チャイコフスキー/「くるみ割り人形」より 序曲、行進曲、こんべいとうの踊り、トレバック、花のワルツ
- ・1月31日(木) 2回(中学生) 会場:すみだトリフォニーホール  
指揮:円光寺 雅彦  
オルガン:室住 素子  
ピアノ:伊賀 あゆみ  
ハンス・ジマー/映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」テーマ  
モーツァルト/歌劇「魔笛」序曲  
J・S・バッハ/小フーガ短調(オルガンのみ)  
楽器解説 弦:チャイコフスキー/弦楽セレナーデ第1楽章より  
木管:グノー/小交響曲より  
金管:デュカ/ラ・ペリのファンファーレより  
打楽器:アンサンブル  
ヴォーン・ウィリアムズ/グリーンスリーブズの主題による幻想曲  
ガーシュイン/ラブソング・イン・ブルー

### ■コミュニティー・コンサート 計2回

- ・10月14日(日) 会場:区立隅田小学校 体育館  
会場:区立押上小学校 体育館  
指揮:梅田 俊明  
チェロ:矢野 晶子(新日本フィルチェロ奏者)  
フルート:荒川 洋(新日本フィル副首席フルート奏者)  
アンダーソン/舞踏会の美女  
ブルッフ/コル・ニドライop.47  
シャミナーデ/フルートと管弦楽のためのコンチェルティノー op.107  
グリグ/音楽物語「ペール・ギュント」第1組曲・第2組曲より  
「花嫁の略奪とイングリッドの嘆き」「山の魔王の宮殿にて」  
「オーゼの死」「朝」「アラビアの踊り」「アントラの踊り」  
「ペール・ギュントの帰郷」「ソルヴェーグの歌」



## ■すみだふれあいコンサート 計20回 (※福祉施設)

・ 4月10日 (火)	墨田さんさんプラザ※	弦楽四重奏	4名
・ 7月5日 (木)	福祉作業所※	弦楽四重奏	4名
・ 7月12日 (木)	亀沢のぞみの家※	トロンボーン	4名
・ 8月24日 (金)	墨田保健センター※	ヴァイオリン	2名
・ 8月27日 (月)	防災フェア	ファゴット	4名
・ 9月14日 (金)	なりひらホーム※	ヴィオラ、ギター	2名
・ 10月6日 (土)	墨田母子生活ホーム※	フルート、ピアノ	2名
・ 12月14日 (水)	福祉保健センター※	弦楽四重奏	4名
・ 12月19日 (水)	同愛記念ホーム※	ヴィオラ、ギター	2名
・ 12月20日 (木)	都立墨東病院	フルート、チェロ、ピアノ	3名
・ 1月21日 (月)	シルバープラザ梅若※	クラリネット、ピアノ	2名
・ 1月23日 (水)	すみだふれあいセンター※	弦楽四重奏	4名
・ 1月29日 (火)	いきいきプラザ※	フルート	2名
・ 2月1日 (金)	はなみずきホーム※	ヴァイオリン	1名
・ 2月18日 (月)	和翔苑※	フルート、ピアノ	2名
・ 2月20日 (水)	文花子育て相談センター	トロンボーン	4名
・ 2月22日 (金)	たちばなホーム※	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 2月29日 (金)	立花ゆうゆう館※	オーボエ、フルート、ファゴット	3名
・ 3月10日 (月)	平和祈念コンサート	弦楽四重奏	4名
・ 3月26日 (水)	清風園※	チェロ、ピアノ	2名

楽団員延べ57名派遣



## ■音楽授業への参加 計36回

・ 6月2日 (土)	錦糸中学校	弦楽四重奏	4名
・ 6月6日 (水)	向島中学校	チューバ、ピアノ	2名
・ 6月14日 (木)	墨田中学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・ 6月20日 (水)	業平小学校	打楽器	2名
・ 6月21日 (木)	中川小学校	トランペット、ピアノ	2名
・ 6月21日 (木)	緑小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・ 6月23日 (土)	外手小学校	コントラバス	2名
・ 6月26日 (火)	柳島小学校	ティンパニ、打楽器、ピアノ	3名
・ 6月26日 (火)	堤小学校	ホルン、ピアノ	2名
・ 7月3日 (火)	曳舟小学校	打楽器	2名
・ 7月5日 (木)	第一吾嬬小学校	トランペット、ピアノ	2名
・ 7月17日 (火)	中和小学校	弦楽四重奏	4名
・ 7月20日 (金)	言問小学校	オーボエ、フルート、クラリネット、ファゴット	4名
・ 9月8日 (土)	文花中学校	トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ	5名
・ 9月18日 (火)	梅若小学校	オーボエ、ピアノ	2名
・ 9月20日 (木)	吾嬬第二中学校	オーボエ、ファゴット	2名
・ 9月21日 (金)	小梅小学校	フルート、ピアノ	2名
・ 10月4日 (木)	錦糸小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・ 10月29日 (月)	第一寺島小学校	コントラバス	2名
・ 11月20日 (火)	第三寺島小学校	フルート、ピアノ	2名
・ 11月27日 (火)	隅田小学校	打楽器、ピアノ	3名
・ 11月27日 (火)	立花小学校	クラリネット	3名
・ 12月18日 (火)	第二寺島小学校	ファゴット、ピアノ	2名
・ 12月19日 (水)	東吾嬬小学校	弦楽四重奏	4名
・ 1月18日 (金)	八広小学校	コントラバス	2名
・ 1月21日 (月)	横川小学校	打楽器	2名
・ 1月28日 (月)	第三吾嬬小学校	弦楽四重奏	4名
・ 2月4日 (月)	菊川小学校	ヴィオラ、ピアノ	2名
・ 2月5日 (火)	第四吾嬬小学校	オーボエ、ピアノ	2名
・ 2月13日 (水)	二葉小学校	ファゴット、ピアノ	2名
・ 2月14日 (木)	押上小学校	打楽器	2名
・ 2月18日 (月)	文花中学校夜間学級	弦楽四重奏	4名
・ 2月19日 (火)	両国小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・ 2月21日 (木)	寺島中学校	フルート、チェロ、ピアノ	3名
・ 2月29日 (金)	堅川中学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 3月14日 (金)	鐘淵中学校	トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ	5名

楽団員延べ98名派遣



## ～手紙の紹介～

アウトリーチ活動を開催する毎に数多くのお礼のお手紙を頂き、これが新日本フィルの大きな励みとなっています。2007年12月19日墨田区立東吾嬬小学校で音楽教室を開催した際に頂いた手紙を紹介します。

わたしはいろいろな曲を聞いてわたしも将来新日本フィルのみんなといっしょにえんそうしたいなあーと思いました。バイオリンの弓の白い部分は何と馬のしっぽの毛だと知ってビックリしました。曲の途中でアニメの音楽をひいてくれてとてもうれしかったです。最後はみんなで歌を歌ってとても楽しかったです。また来て下さい。ありがとうございました。

(小学3年生女子)

# ■ 2008～2009年に向けて 次年度以降目指すもの

## 1. 総論

本年2007～08年度は、厳しい社会経済情勢にかかわらず、新日本フィルは多くの方々のご声援・ご支援を頂き安定した活動を行うことが出来ました。2008～09年度はさらなる飛躍を目指して邁進致します。2011年夏まで契約延長が決まった音楽監督のクリスティアン・アルミンクを中心に定期公演を行うと共に、特別演奏会として弊楽団桂冠名誉指揮者の小澤征爾との共演や、古楽の権威である指揮者フランス・ブリュッヘンとの共演、また世界の主要オーケストラで力を発揮している指揮者ダニエル・ハーディングとの共演などのラインナップを用意しております。これらの演奏会により楽団全体の演奏力をさらに高め、世界の聴衆を魅了することができる演奏を目指して参ります。そして、その集大成として2009年夏にヨーロッパツアーを行い、今まで培ってきた力を世界に向けて発信する予定でございます。また一方で地域密着型のオーケストラとして、墨田区を中心にアウトリーチ活動を積極的に行い、音楽を通じた社会貢献を広く進め、地域社会の中で新日本フィルが必要とされる存在になることを引き続き目指して参ります。

今後の課題としては、主に下記の5つが上げられます。

- ① 楽団員の演奏力の向上
- ② 委託演奏会、地方公演を更に充実させること
- ③ 聴衆を増やすこと
- ④ 社会貢献活動の充実
- ⑤ パトロネージュの充実、一人でも多くの方々に新日本フィルを知って頂きファンになってもらうこと

上記の課題を真摯に取り組み、そしてより多くの方と一緒にあって今後も日本の音楽文化を育てていく所存でございます。

## 2. 自主演奏会・委託演奏会

新日本フィルは芸術性の向上を目指すにあたり、定期演奏会にてクラシック音楽の名曲は勿論ですが、積極的に現代曲や難曲にチャレンジしています。2008年度も多彩なプログラムを設けることにより、あらゆる方々に楽しんで頂ける内容となっています。名曲シリーズは芸術の普及を目的として、墨田区の協力でクラシック音楽の名曲を安価でお聴き頂ける内容となっています。公演の人气が非常に高く、チケットを入手するのが困難な状態となっているのが現状です。その結果、初めて新日本フィルを聴こうとするお客様をお迎えることが難しくなっており、当初の目的から外れている感を強く持っています。楽団内での考察を元に、2008～09年度内に名曲シリーズの運営方法を再考、2009～10年度より新しい形の名曲シリーズを展開する予定です。

2009年はハイドン没後200周年を迎え、又、新日本フィルはハイドンの交響曲を全曲演奏した実績もあります。このような状況で2009年2月に特別演奏会にて、古楽の世界的権威である指揮者フランス・ブリュッヘンの強い希望もあり、「ハイドン・プロジェクト」を企画しております。また、1月には桂冠名誉指揮者小澤征爾との特別演奏会も予定しています。一方、委託演奏会では地方公演を充実させる予定です。津（三重県）、多摩（東京都）に続き、2008年5月には新た

に岐阜県可児市と拠点契約を結び、定期的に演奏会を開催することが決まりました。次年度も多くの方に新日本フィルの魅力をお伝え致します。

## 3. ヨーロッパツアー

2003年にクリスティアン・アルミンクを音楽監督として迎えて以来、音楽監督と新日本フィルの間には良好な関係が築き上げられています。充実した練習と公演を行うことにより楽団員の演奏力も日々向上しております。メディアからも称賛の評を頂き、新日本フィルは日本のオーケストラの新御三家と評価して頂きました。しかしこの評に甘んじることなく、日々粛々と演奏活動に励んでおります。そして我々の培ってきた実力を試すべく、2009年8月から9月にかけてクラシック音楽の本場のヨーロッパにツアー（オーストリア、ドイツ、フランス等）を行う予定です。これに伴いまして、より多くの皆様からのご理解とご支援が必要になって参ります。何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 4. アウトリーチ活動

新日本フィルは音楽の普及を目指してアウトリーチ活動を行っています。ただ演奏会を開催するだけではなく、よりクオリティの高い演奏を聴いて頂きたいという強い気持ちがあります。我々はどうのような演奏会でも妥協することなく、より良い音楽を提供するために日々精進しております。本年も社会貢献活動の一環として墨田区と協力して区内の全小中学校で音楽授業を開催する予定です。また病院や福祉施設にも赴き、普段音楽会場にご来場頂けないお客様にも最高の演奏を聴いて頂く予定です。今後も音楽を通じて地域社会に貢献できればと考えています。そして地域社会からも必要とされる新日本フィルを目指して参ります。また各企業・団体と一緒に、アウトリーチ活動が出来ないか模索もしております。

## 5. パトロネージュ

新日本フィルの大きな誇りとして、多くの方々からご支援を頂いていることが挙げられます。今後も皆様と一緒に音楽の普及に努めてまいり所存です。パトロネージュ室では2008～09年度においても一人でも多くの方々に新日本フィルのファンになって頂けるような活動をして参ります。又、現在ご支援を頂いている皆さまにもより一層新日本フィルをご理解頂けるような企画を検討しながら、楽団にご理解を賜る方々を増やし、新しいご支援に繋げていきたいと考えております。そして、これらを原資に新日本フィルの脱皮を図り、新しい感動を生み出すべく努力を続けていきたいと考えています。2007～08年度に新日本フィルは年間136回の演奏会を行いました。約3日に1回は演奏をしていることとなります。収入を増やす為に演奏会をこれ以上増やすと、楽団員のコンディションや練習量に問題が生じて参ります。コンサートホールは座席数が限られており、チケット収入だけでは運営が賅い切れないのが、新日本フィルだけでなく世界のオーケストラの現状です。このようなオーケストラの現状を打破する方策を新日本フィルは確立したいと考えております。

## ■ 各種データ

### 1. シリーズ別来場者数 1公演当たり平均来場者数

#### 1-1. シリーズ別来場者

	2006年度				2007年度			
	回数	総席数	来場者数	来場率	回数	総席数	来場者数	来場率
トリフォニー	14	25,214	22,156	87.80%	16	28,816	22,966	79.70%
サントリーホール	11	22,066	20,352	92.20%	※5	10,030	8,591	85.65%
名曲	8	14,408	14,381	99.80%	8	14,408	14,408	100.00%
室内楽	10	2,520	2,436	96.70%	10	2,520	2,438	96.75%
その他	13	18,414	15,421	83.70%	9	15,988	15,192	95.02%
自主演奏会計	56	82,622	74,746	90.50%	48	71,762	63,595	88.62%
委託演奏会計	84	145,410	119,810	82.50%	88	152,077	121,479	79.88%
総計	140	228,032	194,556	85.32%	136	223,839	185,074	82.68%

※07年度はサントリーホールの改修工事に伴い、前年よりも公演回数が減少しています。

#### 1-2. 各シリーズ1公演当たりの平均来場者数

	2006年度	2007年度	増減
	平均来場者	平均来場者	
トリフォニー	1,583	1,435	▲148
サントリーホール	1,850	1,718	▲132
名曲	1,798	1,801	3
室内楽	244	244	0
その他	1,186	1,688	502
自主演奏会計	1,335	1,325	▲10
委託演奏会計	1,426	1,380	▲46

## 2. 演奏会収支

ここから、民間からのご支援をそれぞれの演奏会に、稼働率により配分させて頂いた場合の収支となります。

### 2-1 1公演当たりの収支概要

#### ■トリフォニー・シリーズ／サントリーホール・シリーズの1公演当たりの収支

収 入	
入場料	5,344
広告収入他	27
公的補助	4,356
民間支援（配分）	4,825
計	14,552

(単位：千円)

支 出	
人件費・管理費	6,291
演奏会経費	4,510
指揮者・独奏者出演料	3,044
収支超過	707
計	14,552

(単位：千円)

#### ■トリフォニー・シリーズ／サントリーホール・シリーズ以外の自主演奏会1公演当たりの収支

収 入	
入場料	4,855
広告収入他	304
公的補助	3,446
民間支援（配分）	4,349
計	12,954

(単位：千円)

支 出	
人件費・管理費	5,536
演奏会経費	4,157
指揮者・独奏者出演料	2,298
収支超過	963
計	12,954

(単位：千円)

#### ■委託演奏会1公演当たりの収支

収 入	
演奏料	5,607
その他収入	265
民間支援（配分）	752
収支不足	233
計	6,857

(単位：千円)

支 出	
人件費・管理費	4,353
演奏会経費	2,029
指揮者・独奏者出演料	475
計	6,857

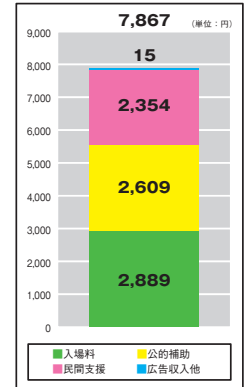
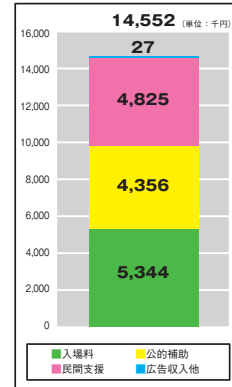
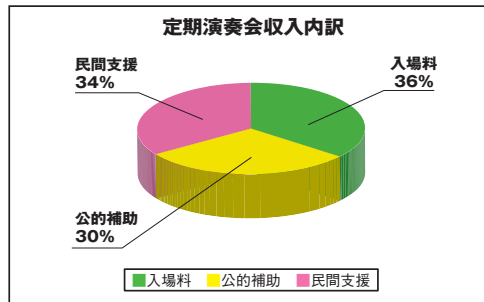
(単位：千円)

## 2-2 トリフォニー・シリーズ／サントリーホール・シリーズ収支

以下、自主演奏会と委託演奏会の収支について記載いたしますが、トリフォニー・シリーズ、サントリーホール・シリーズとそれ以外の自主演奏会では収支構造が同じですので、ここではトリフォニー・シリーズ、サントリーホール・シリーズを例にとり自主演奏会の収支概要を記載いたします。

### ■収入

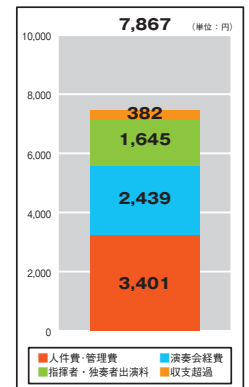
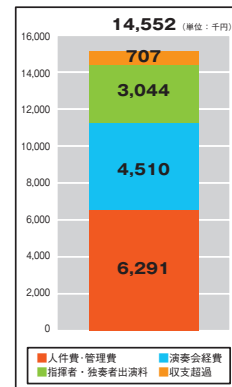
2007年度のトリフォニー・シリーズ／サントリーホール・シリーズの収入は1公演当たり14,552千円、1席当たり約7,867円となっていますが、これは入場料収入、公的補助に民間からの支援を加えた場合の数字で、民間からの支援を除いて算出しますとチケット料金1枚につき約2,609円値上げが必要になります。



### ■支出

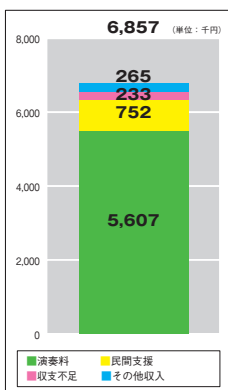
2007年度のトリフォニー・シリーズ／サントリーホール・シリーズの支出は1公演当たり14,552千円となっており、1席当たりに換算すると約7,867円となっています。

その支出の内訳は右記グラフの通り演奏会経費、人件費・管理費等となります。



## 2-3 委託演奏会収支

### ■収入

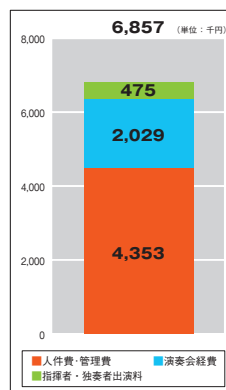


委託演奏会は、演奏会経費の負担が無い一方で、自主演奏会で収入の柱の一つである入場料収入が発生しません。

そのため仮に1公演につき752千円を民間支援金から配分したとしても「収支不足233千円」が発生します。

オーケストラ演奏料の適正化が求められます。

### ■支出



左記グラフの通り、委託演奏会は自主演奏会と異なり演奏会経費負担が無く、1公演当たり6,857千円となっており、前述のトリフォニー・シリーズ、サントリーホール・シリーズと比較しますと1公演当たり、およそ半分となっております。

### 3. パトロネージュ

前項の収支状況をご賢察頂き、パトロネージュシステムへのご理解ご協力をお願い申し上げます。

又、本年度戴きました皆様のご支援を、演奏会運営に当てはめてみますとどのような比率を占めているかをご理解頂き、今後の更なるご支援へのご参考の一助となりましたら幸いです。

#### 3-1 会員数概要

	2006年度	2007年度	前年比
特別支援企業	12社	13社	1社
賛助会（法人）	98社	105社	7社
賛助会（個人）	14名	20名	6名
すみだの会（法人）	64社	58社	▲6社
すみだの会（個人）	256名	255名	▲1名
維持会（個人）	666名	691名	25名
会費	161,790千円	168,730千円	6,940千円

#### 3-2 受取協賛金

2006年度	2007年度	前年比
64,084千円	68,136千円	4,052千円

#### 3-3 賛助会入会

	種別	数		金額
		会員	口	
1	法人会員	16	20	10,000千円
2	個人会員	6	6	1,500千円
合計		22	26	11,500千円

#### 3-4 賛助会退会

	種別	数		金額
		会員	口	
1	法人会員	9	10	▲5,000千円
2	個人会員	0	0	0
合計		9	10	▲5,000千円

#### 3-5 すみだの会（法人）入会

本年度はすみだの会（法人）の新規入会はございませんでした。

#### 3-6 すみだの会（法人）退会

	種別	数		金額
		会員	口	
1	法人会員	6	8	▲800千円
合計		6	8	▲800千円

## 4. 財務データ

### ■貸借対照表の要旨

平成20年3月31日現在

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	251,052	流動負債	243,166
固定資産	116,079	固定負債	41,248
基本財産	100,000	退職給付引当金	41,248
特定資産	10,490	<b>負債合計</b>	<b>284,414</b>
その他資産	5,589	【正味財産の部】	
		正味財産	82,717
		正味財産合計	82,717
<b>資産合計</b>	<b>367,132</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>367,132</b>

### ■正味財産増減計算書の要旨

自 平成19年4月1日

至 平成20年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
基本財産運用益	225
受取会費・寄付金等	224,014
事業収益	872,109
雑収益	6,854
経常収益合計	1,103,203
事業費	986,311
管理費	101,915
経常費用合計	1,088,226
当期経常増減額	14,976
経常外増減	818
当期正味財産増減額	15,795



# 特別支援企業・特別支援団体・賛助会員・維持会員一覧 新日本フィルを支えるすみだの会 法人・個人会員一覧

(2008年3月31日現在)

## 特別支援企業

アサヒビール(株)	AIG Companies in Japan	オリックス(株)
鹿島建設(株)	カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)	ソニー(株)
大和証券SMBC(株)	テルモ(株)	日本電気(株)
野村證券(株)	フジサンケイグループ	

## 特別支援団体

オリックス社会貢献基金

## 賛助会 法人会員

アイエスジー生命保険(株)	代表取締役	山口 徹様	テルモ(株)	代表取締役会長	和地 孝様
(株)朝日新聞社	代表取締役社長	秋山耿太郎様	デル(株)	代表取締役社長	ジム メリット様
アサヒビール(株)	代表取締役会長	池田 弘一様	(医社) 天宣会	理事長	西浦 天宣様
安藤物産(株)	取締役社長	安藤 謙治様	(株)電通	最高顧問	成田 豊様
石川島建機工業(株)	代表取締役社長	岡田 秀夫様	東海カーボン(株)	代表取締役社長	工藤 能成様
(株)イトーキ	代表取締役社長	金子 清孝様	東京ガス(株)	代表取締役社長	鳥原 光憲様
Institutional Investor	President	Mr. Gilbert E. Kaplan	東京商工会議所	会頭	山口 信夫様
ウシオ電機(株)	代表取締役会長	牛尾 治朗様	東京電力(株)	取締役社長	勝俣 恒久様
AIGイースト・アジア・ホールディングス・マネジメント(株)			東洋ゴム工業(株)	取締役社長	片岡 善雄様
AIGカンパニーズ日本・韓国地域会長兼社長兼CEO			(株)徳間書店	代表取締役会長	松下 武義様
		ロバート・W・クライド様	トヨタ自動車(株)	取締役名誉会長	豊田章一郎様
エームサービス(株)	代表取締役社長	石田 久人様	トランスコスモス(株)	代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝様
SMK(株)	代表取締役会長	池田 彰孝様	日経メディアマーケティング(株)	代表取締役社長	関山 豊成様
大崎電気工業(株)	取締役社長	渡邊 佳英様	(株)日建	代表取締役	渥美 和弘様
(株)岡村製作所	代表取締役会長	中村 喜久男様	日本シーカ(株)	代表取締役社長	大場 孝一様
オリックス(株)	会長	宮内 義彦様	日本電気(株)	代表取締役会長	佐々木 元様
オリックス不動産(株)	代表取締役	西名 弘明様	(株)ニッポン放送	代表取締役社長	磯原 裕様
鹿島建設(株)	代表取締役社長	中村 満義様	日本スタッフウェルディング(株)	取締役社長	大道 邦雄様
(株)カジマビジョン	代表取締役社長	横尾 優様	日油(株)	代表取締役社長	大池 弘一様
(株)カナエ	代表取締役社長	金子 圭太様	野田喜産業(株)	代表取締役	野田 拓司様
キッコーマン(株)	代表取締役会長CEO	茂木友三郎様	野村ホールディングス(株)	執行役社長	古賀 信行様
(株)求龍堂	代表取締役	足立龍太郎様	旗保全(株)	代表取締役	旗 功泰様
弁護士法人 光明会	代表社員	稲田 龍示様	(株)ハナエモリ・オートクチュール	デザイナー	森 英恵様
(株)サイバード	代表取締役社長	川田 敦昭様	林法律事務所	弁護士	林 彰久様
三協フロンテア(株)	代表取締役会長	長妻 和男様	阪和興業(株)	代表取締役社長	北 修爾様
サントリー(株)	代表取締役副社長	鳥井 信吾様	パラマウントベッド(株)	代表取締役社長	木村 憲司様
サン・マイクロシステムズ(株)	代表取締役社長	末次 朝彦様	(株)日立製作所	執行役会長	庄山 悦彦様
(株)CSKホールディングス	代表取締役社長	福山 義人様	日立電子サービス(株)	代表取締役社長執行役員	百瀬 次生様
システム・ロケーション(株)	代表取締役社長	千村 岳彦様	(株)日立ビルシステム	相談役	深山 俊彦様
ジェコス(株)	取締役社長	寺尾 主様	(株)日立物流	代表執行役社長	鈴木 登夫様
(株)資生堂	代表取締役社長	池田 守男様	日立マクセル(株)	執行役社長	角田 義人様
ジャパン・ポートサービス(株)	代表取締役	安原 三郎様	ヒノキ新薬(株)	取締役社長	阿部 武彦様
(株)集英社	代表取締役社長	山下 秀樹様	日比谷総合設備(株)	代表取締役社長	木村 信也様
湘南デザイン(株)	代表取締役CEO	松岡 康彦様	(株)フォンテック	代表取締役	吉村 澄男様
スターツコーポレーション(株)	代表取締役会長兼CEO	村石 久二様	(株)フジクラ	代表取締役社長	大橋 一彦様
住商セメント(株)	取締役社長	佐藤 雅之様	富士ゼロックス(株)	相談役最高顧問	小林陽太郎様
(株)世界貿易センタービルディング	代表取締役社長	高橋 弘長様	(株)フジテレビジョン	代表取締役会長	日枝 久様
セコム(株)	取締役最高顧問	飯田 亮様	(株)ブリヂストン	代表取締役社長	荒川 詔四様
ソニー(株)	相談役	大賀 典雄様	(株)不動産テラ	代表取締役社長	高橋 昭夫様
大興物産(株)	代表取締役社長	友道 昌吾様	フライングフィッシュサービス(株)	代表取締役社長	河合 豊様
(株)大京	代表執行役社長	田代 正明様	ブラックロック・ジャパン(株)	代表取締役社長	服山 清一様
ダイキン工業(株)	取締役会長	井上 礼之様	(株)プロマックス	代表取締役	遠山 豊様
第一三共(株)	相談役	鈴木 正様	文化シャッター(株)	執行役員特販支社長	但野 進様
(株)大和証券グループ本社	代表執行役社長	鈴木 茂晴様	(株)文芸社	代表取締役社長	瓜谷 綱延様
武田薬品工業(株)	代表取締役会長	武田 國男様	(株)ベネフィット・ワン	代表取締役社長	白石 徳生様
田邊工業(株)	代表取締役会長	田邊 重光様	(株)ホテルオークラ	代表取締役社長	松井 幹雄様
中外製薬(株)	代表取締役社長	永山 治様	(株)ポニーキャニオン	代表取締役社長	桐畑 敏春様

(株)ボネール	代表取締役 福井 章様	(株)宮本組 関東支店	取締役支店長 西山 佳輝様
松下電器産業(株)	取締役社長 大坪 文雄様	向井建設(株)	代表取締役社長 向井 敏雄様
(株)みずほコーポレート銀行	取締役頭取 齋藤 宏様	森ビル(株)	代表取締役社長 森 稔様
三井住友海上火災保険(株)	代表取締役 江頭 敏明様	モルガン・スタンレー証券(株)	代表取締役社長 ジョナサン B. キンドレッド様
(株)三井住友銀行	頭取 奥 正之様	郵船航空サービス(株)	代表取締役社長 矢野 俊一様
三井不動産(株)	代表取締役社長 岩沙 弘道様	UBS証券会社	日本における代表者 社長 大森 進様
三井物産(株)	代表取締役社長 梶田 松登様	ルートインジャパン(株)	代表取締役 永山 勝利様
三井物産スチール(株)	代表取締役社長 丹内 孝治様	(株)ルネサステクノロジ	会長&CEO 伊藤 達様
三菱商事(株)	代表取締役社長 小島 順彦様		
(株)三菱東京UFJ銀行	頭取 畔柳 信雄様		

## ■賛助会 個人会員

新宿区	東 祥弘様	大津市	津久間 栄様	港区	本田 桂子様
比企郡小川町	小笠原八郎様	下都賀郡石橋町	新島 健司様	文京区	松本 謙一様
中央区	神津ゆうじ様	藤沢市	野澤 宏様	大田区	森 正勝様
世田谷区	佐久間 登様	足立区	橋本 正己様	渋谷区	山崎 富治様
世田谷区	佐多 保彦様	野田市	堀 慶子様	目黒区	山本 修造様
中央区	鈴木 道夫様	調布市	堀之内建二様		他2名様

## ■維持会員

藍 尚禮様	藍 安子様	秋鹿 武志様	愛澤 太加至様	愛澤 尚太郎様	青木 禎様	青山 孝徳様	赤坂 芳子様
秋山 澄様	秋山 友子様	秋山 瑞枝様	阿久澤 恭子様	阿子島 淑江様	浅川 晃子様	浅川 博様	浅野 政子様
旭 恭右様	浅見 照一様	浅見 真帆様	足立 純枝様	穴吹 福代様	荒井 洋一様	荒井 節子様	荒井 美樹様
アロエベラふれんず様		アロエベラ・ユニバース様		荒川 健秀様	安藤 純様	安藤 信子様	安藤 由利様
五十嵐 恵様	生田 芳朗様	池内あかり様	池内 恵美様	池川 教昭様	池口 邦彦様	池田 京子様	石井 暁子様
石井 明俊様	石井 景子様	石井 直子様	石井 仁志様	石井 博子様	石井 洋子様	石井 芳子様	石川 明子様
石川 郁子様	石川 栄子様	石川 正志様	石黒 隆様	石黒 時子様	石野多加子様	石橋 昭彦様	石橋 祐司様
石原 文子様	石渡 幸子様	石渡林太郎様	和泉 雅子様	磯貝 恵三様	磯野喜美恵様	磯部 房子様	市原 典子様
井出 明宏様	伊藤 栄二様	伊藤 喜六様	伊藤 順子様	伊藤 信夫様	伊藤 信彦様	伊藤みと梨様	伊藤祐一郎様
稲垣 裕様	稲垣 素子様	犬飼 早苗様	猪上 英二様	井上 雅之様	井下 章様	今嶋 泰史様	岩崎 静江様
岩澤 康子様	岩野 裕一様	岩船 展子様	岩本 俊次様	印南 慶俊様	印南 陽子様	植木 桂子様	植木 三郎様
植田 健夫様	上田 貴子様	上田 治久様	上田 博子様	上野 誠治様	魚住 昭子様	宇田川美和様	内田 幸子様
内田真也子様	内海 充康様	賣野 昌代様	江黒 俊弘様	江畑 隆夫様	海老原典子様	遠藤 憲孝様	遠藤 利恵様
小江 恵子様	大家 邦久様	大内 一也様	大内三千代様	大江ひろ子様	大澤 純子様	大島 恵子様	大島厚太郎様
大嶋 朋子様	太田 詔様	太田 弘様	太田 裕康様	太田富久子様	太田 麻由様	太田 萬蔵様	大塚 達美様
大坪 元至様	大友りう子様	大野美智子様	大本 千賀様	大脇 直彦様	岡崎安偉子様	小笠原史豊様	岡田 邦明様
岡田 三郎様	岡田 二郎様	岡田 哲様	岡橋 修様	岡橋 真琴様	岡本 哲子様	小川いち子様	長 信也様
尾崎 進亮様	小田 哲夫様	織田 隆士様	落合 幸隆様	小沼 徹様	小沼 礼子様	小野 敏夫様	小野寺孝子様
尾山 進様	織田 理英様						
甲斐久美子様	貝本 清美様	香川由記子様	柿木 伸之様	影井 良貴様	笠井みさ枝様	笠原 孝夫様	柏崎 寿子様
片岡 洋美様	片岡 容子様	片桐 雅子様	片岡 正行様	片山美佐子様	勝部 泰次様	勝又 禮子様	勝村 務様
加藤 忠男様	加藤 文子様	門井 桜子様	金澤 寛様	金沢ゆかり様	金子 恵理様	金子 忠正様	加福 光一様
鎌田 隆様	上久保君江様	上村由起子様	亀田 葉子様	川井 明様	河合みさを様	河内 忠様	河内 京子様
河内 真人様	川上 成直様	川口 泰宏様	川崎 弘子様	川嶋 節子様	川瀬 絵美様	川瀬 健介様	河田 淑子様
河津てつ子様	河津 緑様	河村 康二様	川本 敬三様	川本 仁美様	川本 康子様	神田 進様	木内 一美様
菊田 桂子様	菊原 理恵様	菊原理紗子様	木田 政教様	木坂 賢様	木坂 従子様	北角 嘉徳様	北角 智美様
北村 昭治様	北村 尚子様	木下潤一朗様	木下 紀子様	木下 典夫様	木下 典子様	木村知恵子様	木村 真弓様
木元 淳子様	清澤 友美様	桐田 裕美様	桐田 光修様	日馬 ハナ様	久能 晃様	久能 勝様	久富木文子様
熊谷 紀子様	倉田 宗司様	クリスティアン・アルミンクの会		黒川 聡様	黒田 信五様	黒田 汪子様	小池 篤子様
小池 一夫様	小池 将雄様	小池美智子様	小池 幸子様	郷右近タエ様	神津ゆうじ様	上月 千鶴様	河野久仁子様
古賀 慎治様	小久保晴行様	小柴 禮悦様	小谷 宏行様	後藤 慶子様	後藤 敬子様	後藤 環樹様	小西 純子様
小西 祐一様	小林 章弘様	小林 京子様	小林 憲史様	小林 千賀様	小林 弘明様	小林 洋様	小林 政雄様
小林 睦子様	小林 百枝様	小船 善弘様	小堀惠美子様	小松 洋子様	小山 希一様	近藤 和枝様	近藤 孝子様
金野 民雄様							
斎藤恵美子様	斎藤 俊二様	斎藤 正様	斎藤由利子様	齋藤 理詠様	五月女喜久江様	五月女進一様	堺 得夫様
酒井 知彦様	酒井 紀子様	酒井 柚香様	境野 環樹様	榊原 祥子様	坂倉千恵子様	坂田奈央子様	阪田 信子様
坂田 光徳様	阪野 徹様	坂本 勇様	桜井由美恵様	桜田 雅子様	佐々木恭子様	佐々木恵子様	佐々木将人様
笹倉 実様	笹野 晴雄様	佐治 薫子様	佐藤 弘毅様	佐藤 信秋様	佐藤 勝様	佐藤 安洋様	佐藤利津子様
里見 正憲様	真田 平次様	更科 博子様	沢部 浩久様	澤本 優子様	澤谷 学様	椎名 武雄様	志岐 宏様
静岡 奈美様	篠崎 知子様	篠原 辰夫様	篠原るり子様	柴田 乙雄様	柴田 文雄様	島崎 信様	島崎ひろみ様
島崎 義勝様	嶋津 優子様	清水 詮代様	清水すみ子様	清水 秀昭様	清水富士夫様	清水 睦子様	志村 光恵様
白崎 邦雄様	城田新一郎様	新谷 始子様	晋友会合唱団様	菅原 彰様	杉江 弘仲様	杉林 裕夫様	杉原 久雄様

鈴木 和子様	鈴木 克巳様	鈴木 吉郎様	鈴木 公正様	鈴木 孝治様	鈴木佐和子様	鈴木 茂様	鈴木すみ子様
鈴木 隆様	鈴木 直子様	鈴木 雅夫様	鈴木 雅博様	鈴木 泰子様	須藤久仁子様	砂畑 光江様	澄川 洋子様
住吉 純子様	成城合唱団様	瀬川 和子様	関 佐奈江様	関 守様	関 れい子様	関根 一禄様	関端 政明様
瀬古 康子様	瀬下 敬子様	善場 弘子様	相馬 晶夫様	添田 淑子様	園田 洋様	園田 幸男様	染谷 香様
高井千恵子様	高木 敬子様	高野 道子様	高橋 明子様	高橋 賢司様	高橋知佐子様	高橋 幸恵様	高橋 行雄様
高橋 洋子様	高橋リエ子様	高部 典子様	高松 則雄様	高村 数実様	高森さよ子様	瀧上 智恵様	瀧澤 奎二様
滝野 豊様	瀧野澤 幸様	武井 巖様	竹内 昭様	竹内 孝様	竹内 久乃様	竹尾佳津子様	竹下 幸枝様
武田健次郎様	竹田 幸子様	竹田 輝男様	竹田 優子様	竹田津文俊様	武中 香様	竹中スミ子様	田島 夏与様
田代 益啓様	田中恵美子様	田中 成行様	田中 龍彦様	田中 玉枝様	田中 敏雄様	田中 敏子様	田村久美子様
千木良明徳様	千々岩浩子様	千葉弘太郎様	千代田栄次様	塚本 八峰様	辻 智子様	土屋 英則様	堤 久見子様
網島功太郎様	角田美智子様	釣巻 耕秀様	照木 健様	土井紀久子様	土井 知子様	土肥 昇様	遠山 柚子様
東京アカデミッシュカペレ様		徳永 和子様	徳山美沙子様	戸塚 正輝様	轟 ヒサ様	友田 寿子様	
内藤 昭様	内藤 明枝様	内藤 薫様	内藤 藤三様	内藤 昌浩様	内藤 峰子様	永井 宏様	長井 裕史様
中井 幸夫様	永井 秀文様	永石 嘉子様	中尾 恭子様	中川 裕美様	長澤 絢子様	中嶋喜代子様	永田 教子様
永田 仁様	永田真由美様	永田ゆりの様	中藤 月子様	中藤 泰雄様	仲野 敏生様	中野 浩様	永原 玲子様
永松 智美様	永宮 毅久様	中村 京子様	中村 清高様	中村 忠良様	中村 博様	中村美代子様	中村 義政様
那須 孝男様	生江 隆彦様	鳴海 充久様	新里 正様	新美 誠様	西 ありあ様	西川 悟様	西川 康子様
西沢 智康様	西嶋美千代様	西田 克彦様	西田 智美様	西田 好美様	西谷 博様	西村 清邦様	西本 徳子様
根木 康利様	野村あい子様	野村 勝美様					
袴塚 敦様	萩原 道彦様	箱木 克士様	長谷川紀子様	長谷川光明様	支倉二二男様	島中かよ子様	島中 達夫様
秦野 昭二様	濱田 充様	濱田 貴子様	浜田 光子様	浜野 千鶴様	羽村 雅俊様	早川 知宏様	林 恵子様
原 知佐子様	原 浩子様	原 正和様	原 洋子様	原田 香織様	半田 庄司様	半田三枝子様	半田 祐一様
半戸嘉奈江様	東尾 愛子様	東尾 吉信様	樋口 弥生様	平井 英雄様	平川 水晶様	平沢あや子様	廣瀬 駒雄様
広瀬由紀子様	広中 容子様	深井 澄二様	深草耕太郎様	布川 隆志様	福崎至佐子様	福澤 寿子様	福島 高夫様
福田 悦子様	福田 晴彦様	福田 洋様	福田美知子様	福田 義晴様	藤井 和子様	藤岡 正枝様	藤久保美智代様
藤田 碩子様	藤田 直子様	藤田 正彦様	船橋 有様	古川原裕仁様	古澤 恵子様	古谷 喬子様	古矢 冷子様
星島 晶子様	細尾 直子様	細谷 エイ様	法橋 建様	穂満 孝子様	堀 博司様	堀口 勝様	堀口美代子様
堀田 文雄様	本郷 順子様	本宿 克様					
前澤 麻子様	前田 美奈様	前田友見子様	卷 道夫様	牧野 倫世様	牧野 英之様	馬瀬 清孝様	松井久美子様
松井 茂様	松波 恵子様	松原 淑子様	松宮 道子様	松本 明男様	松本 和子様	松本万里子様	松谷 正敏様
間宮 悠様	間宮美智子様	丸島多美子様	丸島 信雄様	丸茂 健様	圓山 昭様	圓山 直様	三浦 圭子様
三浦百合子様	水ノ上揚重様	水ノ上揚子様	三田もえ子様	三津田 敬様	三津田 敬様	三津田信子様	三戸 健策様
峯岸 好江様	峰田知左子様	三平 武男様	宮 緑様	宮川 暉雄様	三宅加代子様	都田 慶裕様	宮崎 隆男様
宮崎 美枝様	宮崎 美子様	宮下 樹聖様	宮下 節様	三輪美枝子様	三輪田真澄様	向口 周子様	向坊富士子様
村上 一平様	村上 睦様	村上健一郎様	村瀬 昭二様	村松 博様	村山 歩様	村山 のぶ様	村山 公美様
毛利 曄子様	本吉 清美様	百瀬 毅様	森 トキ子様	森 玲子様	森川 栄様	守屋 和子様	森山 薫様
師岡 一司様	諸橋 反子様	門田恵利子様	門馬 正和様				
八木 純子様	夜久 吉宏様	矢倉美保子様	矢代 元子様	安田まゆみ様	安田百合子様	安永 利枝様	柳下 等様
矢野 共栄様	山川 和子様	山口 博様	山崎 博一様	山下 幸子様	山田善四郎様	山田 拓実様	山田 徹男様
山田 文子様	山田マリ子様	山津 一之様	山中 厚子様	山林 容子様	山本 明子様	山本 修三様	山本 潤子様
山本 崇様	山本千鶴子様	山本 智雄様	山本 洋様	山本 康子様	油井 信春様	湯村 謙三様	湯村 蔚子様
湯原 明子様	横川 寛様	横田喜久恵様	横堀 辰也様	横山誠一郎様	横山 宏子様	横山 優子様	吉田 勝信様
吉田 菊子様	吉田 瑞恵様	吉野 邦夫様	寄島 清美様				
栗友会 様							
若狭 慧様	若狭 正子様	若日田富美子様	和田 英恵様	和田 倫子様	渡部 明子様	渡辺 栄子様	渡邊 千寿様
渡邊千津子様	渡辺 信宏様	渡辺 聖様	渡辺 秀之様	渡辺 雅晴様	渡辺 美香様	渡辺 和様	渡辺 洋子様
渡邊 禮子様	渡邊 令子様	他24名様					

■新日本フィルを支えるすみだの会 法人会員

(株)阿久津電機	代表取締役	阿久津和恵様	関根床用銅板(株)	取締役会長	関根 宏一様
アサヒビール(株)	代表取締役会長	池田 弘一様	(株)セラフ	代表取締役	土屋 努様
(株)アートヴィレッヂ	代表取締役社長	鈴木安喜雄様	(株)大染	代表取締役	大屋 實様
(株)アルカタワーズ	代表取締役社長	田中 進様	大東印刷工業(株)	代表取締役	佐竹末太郎様
(株)エス・シー・アライアンス	代表取締役社長	鈴木 輝一様	中央(株)	代表取締役	小田桐 修様
大坪電気(株)	代表取締役	大坪 政次様	(株)テイバユニット	取締役社長	浅輪 重信様
岡部バルブ工業(株)	代表取締役	岡部 長八郎様	東京コカ・コーラボトリング(株)	代表取締役社長	高梨 圭二様
花王(株)すみだ事業場			東京建物(株)	代表取締役社長	南 敬介様
(株)糟谷	代表取締役社長	糟谷 孝男様	東京彫刻工業(株)	代表取締役	花輪 篤稔様
キップス(株)	代表取締役	田中 正裕様	東京東信用金庫	会長	高橋 久雄様
(株)銀座柳画廊	代表取締役社長	野呂 好彦様	(株)東京舞台照明ホールディングス	代表取締役	寺田 義雄様
錦糸町熱供給(株)	代表取締役社長	富岡 建治様	(株)東京楽天地	取締役社長	竹下 直志様
久米繊維工業(株)	代表取締役会長	久米 信市様	東武鉄道(株)	取締役社長	根津 嘉澄様
京成電鉄(株)	取締役社長	花田 力様	凸版印刷(株)	代表取締役会長	藤田 弘道様
国宝商事(株)	代表取締役	山中 弘様	(株)仲むら	代表取締役	中村 信子様
さくらケーブルテレビ(株)	代表取締役社長	岡田 茂様	(株)南波工業所	代表取締役	梨本 博矛様
三恵産業(株)	代表取締役社長	阪本 和男様	(株)日建設計	代表取締役社長	中村 光男様
(株)三高	代表取締役	車 盡一様	(株)ピート	代表取締役	赤池 順一様
サンワプリント(株)	代表取締役社長	久米マチ子様	ヒノデワシ(株)	代表取締役社長	菅谷 光子様
(株)CIC	代表取締役	真壁喜久夫様	フジサキテキスタイル(株)	代表取締役	藤崎 義朗様
(株)シグマコミュニケーションズ	代表取締役社長	西野 好彦様	(株)船橋屋	代表取締役	渡辺 孝至様
(株)施設管理サービス	代表取締役会長	加藤 満司様	丸源飲料工業(株)	代表取締役社長	阿部 貴明様
(株)事務所ニュースセンター	代表取締役	平井 基司様	(株)ムラヤマ	代表取締役	村山 寛司様
杉田エース(株)	代表取締役社長	杉田 直良様	(株)モルフォ	代表取締役会長	石川 勲様
(株)杉田製線	取締役社長	杉田 光一様	(株)ユービ	代表取締役	小須田 学様
(株)鈴徳	代表取締役社長	鈴木 徹様	(株)良味オフィス	代表取締役	高橋 良味様
ステップサイエンス(株)	代表取締役	郡司 次郎様	ライオン(株)	代表取締役社長	藤重 貞慶様
スミダ飲料(株)	代表取締役	阿部 豊様	YKK AP(株)	代表取締役社長	吉田 忠裕様
墨田区文化観光協会					

■新日本フィルを支えるすみだの会 個人会員

相澤 邦雄様	青木 剛様	秋葉 恵子様	朝木 信晶様	阿部吾三郎様	天野 茂様	新井 伸也様	有田 武雄様
在原 マサ様	安藤 朝規様	飯野 一子様	飯森 康雄様	池田 君子様	池田 成美様	石井 秀和様	石川 一博様
石川 幸子様	石野 公敏様	石原佳代子様	石原 周一様	磯川 敏夫様	稲田 武士様	稲吉 昭子様	井上 彩子様
井上 俊策様	井上 英男様	今井 敏子様	今泉 峰子様	今川 和夫様	今牧 茂様	今村 昭夫様	岩佐 一郎様
岩瀬 均様	岩本千恵子様	宇戸 富江様	采女 奈穂様	江口 利一様	遠藤 浩吉様	太田 幸子様	大瀧 愛子様
大滝 信一様	大谷 弥生様	大林 完二様	大室 輝雄様	岡崎 卓見様	岡田 貢様	岡野 嘉久様	小川 幸男様
沖田くに江様	沖田 茂様	長田 昭子様	長田 行雄様	織田雄二郎様	小野 拓様	小山 季廣様	
海宝 雄次様	嘉義 悦子様	鹿島田和宏様	柏木千壽子様	加治原 郁様	片桐 徳一様	勝田 顕良様	加藤 珠枝様
加藤 ハル様	狩野 秀子様	亀田 紀子様	河合 克美様	河上 俊郎様	川嶋 宏平様	岸川 紀子様	岸本 佳巳様
北川 孝雄様	北澤亜紀子様	北村 芳子様	木所 律子様	木村 敏子様	國枝 純一様	久保喜久夫様	久保 孝之様
久保 友吉様	久保木 章様	熊谷美智子様	熊谷 安弘様	栗原 博様	桑原きよ子様	河野 弘子様	光明 幸子様
小久保 明様	小暮 真人様	小嶋真一郎様	小島 聡平様	後藤 賀健様	小林 清様	小松 明美様	小室 秀夫様
近藤 舜二様							
齋藤 正路様	堺 恵子様	酒井 敏春様	坂田 静子様	阪田 英明様	坂本 康治様	佐久間 之様	櫻田 智様
雑喉 利祐様	佐藤 英治様	佐藤 真一様	佐藤 晋郎様	佐藤ゆり子様	真田 平次様	鮫島 栄子様	澤 節子様
三部 治美様	宍倉 義人様	宍戸 亮様	篠崎 染子様	柴田智恵子様	柴山 啓子様	澁谷 恵子様	島崎 進様
島田 悦子様	清水 寛様	庄司 孝憲様	白鳥 淳様	新橋 一三様	末富 裕二様	杉野 清志様	杉本 哲夫様
鈴木 篤様	鈴木えみ子様	鈴木 和昭様	鈴木 真里様	鈴木フサ子様	鈴木 藤子様	鈴木 陽子様	関口 卓也様
関口 皆子様	関口 芳正様	関根 和子様	関根 正己様				
高島 洋明様	柏木千壽子様	高野 祐次様	高橋 宏幸様	高橋 芳江様	高林 眞理様	田上 元則様	高山 一郎様
高山 二郎様	瀧澤 晴美様	竹内 光子様	竹本 葆様	田代 裕子様	館野 功様	田中 進様	田中富士子様
田中 正右様	田中 美江様	田中三恵子様	田中 喜雄様	田邊 博夫様	玉居子博子様	玉岡みどり様	鶴間 純治様
寺澤美代子様	任田 節様	東谷万智子様	常磐 隆様	豊崎 壽幸様			
長井久美子様	中潟 信和様	中澤 恒雄様	中島 雄幸様	中武 繁明様	中谷 賢一様	永廣 修様	中村 数江様
仲村 和子様	中村 重郎様	中村 澄子様	中村 晃也様	中村 弘様	中村 文男様	永盛 省夫様	中山 誠様
並木 節子様	奈良 康司様	西明 帝子様	西田 透様	西田みちよ様	野口 富子様	野田 百造様	
芳賀 珠世様	萩原 和富様	長谷川 健様	浜田 将彰様	早川 栄子様	林 恵子様	樋口 修一様	百花亭 様
平野 晶子様	深野 紀幸様	藤井 正昭様	藤田 彰様	藤田 悟様	藤原 操様	藤春加代子様	船越 隆司様
古澤 武雄様	細川 保夫様	細田 圭子様	堀川 順弘様				
牧野 賀博様	牧野 光江様	増田 淳子様	松澤 治子様	松田 正樹様	松竹 耕治様	丸橋 健司様	宮城 進様
宮下 一風様	宮本 高子様	宮本 忠治様	村井 孝子様	森 千二様	森 隆夫様	森川 穰様	
矢島真由美様	安井 貞子様	安井 正様	安田 信子様	柳田サタヨ様	山内 勉様	山口 昭義様	山崎 剛様
山崎 茂樹様	山崎 寛司様	山下 公平様	横山 信雄様	吉倉 信広様	吉沢 弥重子様	吉田 章様	吉田 晴彦様
吉田美津子様							
渡辺 茂男様	渡邊 正雄様	渡会 順久様	他8名様				

# すみだトリフォニーホール拠点に10年

# 新日本フィル 街に定着

墨田区が「新日本フィルハーモニー交響楽団」と本格的なフランチャイズ提携をし、拠点となる「すみだトリフォニーホール」ができて10周年を迎えた。公共ホールをフル・オーケストラの活動に提供する全国の自治体で初の試みだった。区は財政事情が厳しい時にも「おらが街のオーケストラ」として支援を続け、新日本フィルもメンバーが区内の小中学校で音楽指導するなどの活動を続けている。

(秦忠弘)

## 音楽の魅力住民に

**すみだトリフォニー** 新日本フィルハーモニー交響楽団 72年に小沢征爾氏を指揮者に楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97年からすみだトリフォニーホールを活動の本拠地とする。現在の楽団員は96人。



①音楽指導では楽団員の演奏に合わせて小学生たちが歌った。②墨田区立第四吾嬬小学校の音楽室で③公演を前に練習する新日本フィルのメンバーとアルミンク氏＝03年、すみだトリフォニーホールで、新日本フィル提供

「錦糸町のすみだトリフォニーホールという『おうち』で活動しているオーケストラです」  
5日、墨田区京島3丁目の区立第四吾嬬小学校で、全校児童を2つに分けて新日本フィルの巡回音楽指導があった。先生役はオーボエ奏者、浅間信磨さん(42)。妻の佳世子さん(44)がピアノを伴奏した。  
4、5、6年生と特別支援学級の児童計80人対象の授業では、バッハの「メヌエット」やチャイコフスキーの「白鳥の湖」、ドボルザークの「新世界より」を演奏。オーボエの音の出る仕組みやオーボエの仲間の楽器を説明し、最後は「となりのトトロ」から3曲

新日本フィルは毎年、区内のほぼすべての区立小中学校や施設など約60カ所を巡るほか、小中学校の体育館などで楽団員によるコンサートを開いている。  
「墨田区の小学生はと

ても恵まれている」。授業を終えた同校音楽教諭の中山敏子さんは、そう話した。  
**音作りに効果**  
新日本フィルが「おうち」と表現するのが、年約40回コンサートを開くすみだトリフォニーホールだ。約1800人収容の大ホール、約250人の小ホールなどがある。

大ホールや練習室は優先的に使用できる。館内には、楽団事務所や楽器保管の場所などの専用スペースがあり、日常的な活動拠点になっている。楽団歴25年のバストロ・ポン奏者の門脇賀智志さん(49)は「練習の時から音の響きが分かり、少しずつ楽団の音づくりができるようになった。この10年でほぼ完成に近づいた」。専務理事の森千二さん(69)も「それまでは工場の食堂棟のスペースなどを練習場にして、環境が安定するという利点のほかにも、固定ファンを増やすスペースができた」と話す。

区が新日本フィルとフランチャイズ提携するきっかけは23年前。国技館が蔵前から移ってきた記念に、国技館で区民ら5千人がベートーベンの「第9」を合唱。その成功に、当時の山崎栄次郎区長が「音楽による街づくり」を掲げた。  
後任の奥山澄雄区長が88年、それを具体化した「墨田音楽都市構想」を発表し、新日本フィルとのフランチャイズ提携につながった。

同構想に盛り込まれたすみだトリフォニーホールは97年に完成した。総工費は約290億円。その後の区財政の負担となったが、発行した公債(借金)も今年度中に償還できる見込みだ。

区は新日本フィルがホールを拠点としてから、毎年、支援などのため6千万〜7千万円を支出している。現在の山崎昇区長は「音楽という文化は住民が生きる上で必要なものだ。厳しい行財政改革を行う中でも、ずっと支援していきたい」と話している。

### 「文化は必要」

***Annual Report 2007-2008***

2008年8月31日発行

発行者 財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-3

すみだトリフォニーホール内

TEL. 03-5610-3820 [www.njp.or.jp](http://www.njp.or.jp)